

詳細

取扱説明書

親機編

デジタル波

ハンドルコードレス 多機能電話機

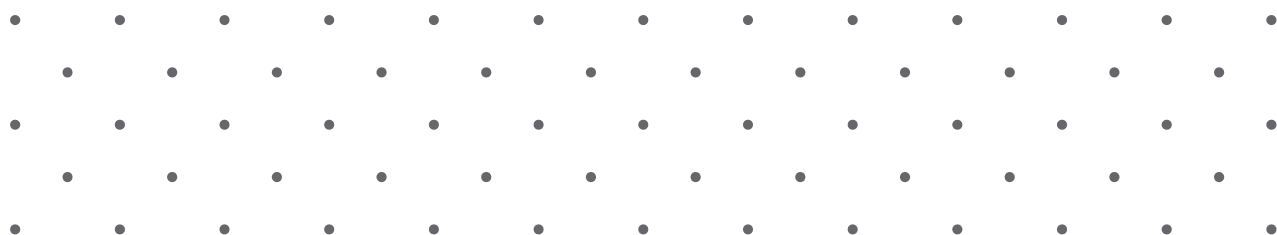
HI-G-TEL

技術基準適合認証品



このたびは、お買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- この取扱説明書は親機を中心に説明しています。子機の取扱いについては「詳細取扱説明書 子機編」をご覧ください。
- お読みになったあとは、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。



「安全のために必ずお守りください」
(P.3~4)をお読みいただき、正しく
お使いください。

ご使用前に

この説明書では、電話機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は次の区分に分けて記載しています。

 警告	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)		補足説明です。電話機に関する内容が記載されています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は「分解禁止」です)		電話機のメニュー操作や登録する際の注意を喚起しています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」、下の場合は「必ず実施」です)		

- この電話機はクラスA情報技術装置です。この電話機を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のMini Wnnを使用しています。
"Mini Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved.

安全のために必ずお守りください

ご使用にあたり次の内容をよくお読みください。

■異常時の処置について

⚠ 警告



内部に水などが入った場合は、回線コードをモジュージャックから外し、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



内部に異物が入った場合は、回線コードをモジュージャックから外し、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



煙が出ている、または異臭がする場合は、回線コードをモジュージャックから外し、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線コードをモジュージャックから外し、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

⚠ 警告



電話機に水が入らないよう、またぬらさないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属物を置かないでください。液体や異物が入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



すきまなどから内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電話機を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電話機コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電話機裏面にコードを接続する場合、誤ってカーコードをMFTまたはLINEに接続しないでください。ハンドセットに回線電圧がかかって火災・感電・故障の原因となります。



子機を充電する場合は、親機の充電端子以外を使用しないでください。火災・故障の原因となります。



充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。



充電端子に水滴がついたままの状態での充電しないでください。火災・故障の原因となります。



電話機で指定されていない電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



使用済みの電池を火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。



本装置にはアルミ電解コンデンサを使用しており、耐用年数が7年となります。7年を超えてのご使用は危険ですとおやめください。

■取扱いについて

⚠ 注意



電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。



移動する場合は、回線コードなど外部の接続線を外してください。外さないまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



寒い場所から暖かい場所に移さないでください。内部に水滴が付くことがあります。結露したまま使用すると故障の原因となります。



回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。



壁掛け式で使用する場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となります。



誤って、アンテナで目をささないようにしてください。



この電話機を廃棄するときは、販売店にご相談ください。

安全のために必ずお守りください（つづき）

■設置場所について

⚠ 警告

-  直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となります。
-  湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器の近くに置かないでください。油煙や湯気が当たり、火災・感電・故障の原因となります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
-  壁掛け式にする場合は、堅固に取り付けてください。電話機の重みで落下して、けがの原因となります。
-  振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■設置場所について

⚠ 注意

-  テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、ノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
-  この電話機は温泉地向けの仕様ではありません。温泉地で使用した場合は寿命が短くなるおそれがあります。
-  製氷倉庫の中など、特に温度の下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
-  接地部分にゴムを取り付けています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります。
-  テレビ局・ラジオ局の近くでは、正常に動作しないことがあります。

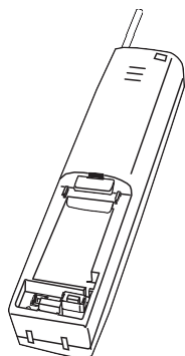
■お手入れについて

⚠ 注意

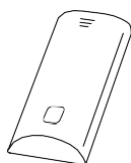
-  静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
-  アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。
-  汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布を固く絞って拭き、その後、乾いた布でもう一度拭いてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。

付属品を確認する

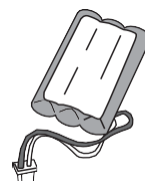
本電話機に以下の添付品が同梱されていますので確認してください。もし不足しているものがありましたら販売店にお問い合わせください。



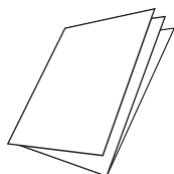
●子機（1 個）



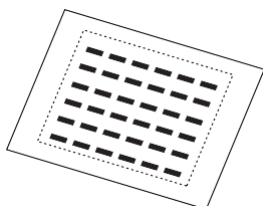
●子機電池カバー（1 個）



●充電電池（1 個）



●簡易取扱説明書（1 部）

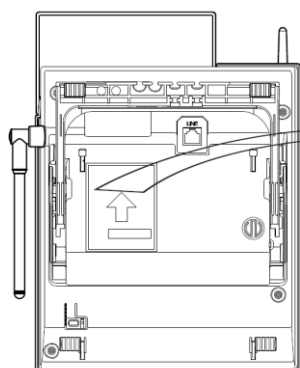


●示名紙（2 枚）

I Dコードを確認する

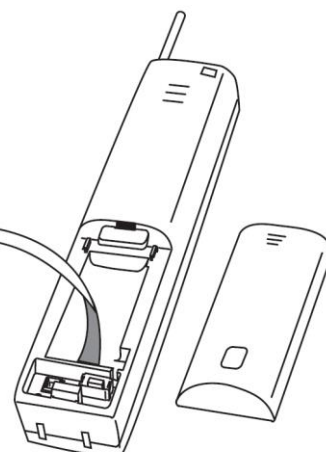
本電話機は他のコードレス電話機との混信防止のため、I Dコード（識別符号）を採用しています。このため、ペアの親機と子機でなければ使用できません。ご使用の前に親機と子機のI Dコードが合っていることを確認してください。I Dコードが合わない場合は販売店にご連絡ください。

親機



I Dコード

子機



I Dコード

この電話機の特性と取り扱いについて

- この電話機はデジタルコードレス電話機専用の無線電波（周波数1.9GHz）を使用した、マルチチャネル(37通話チャネル、2制御チャネル)アクセス方式(MCA)のチャネル切替方式無線電話機です。
- この電話機は秘話機能(盗聴防止)を採用しているため、盗聴が非常に困難ですので安心して通話していただけます。ただし、第三者が特殊手段を講じた場合は完全に防止することはできません。
- この電話機は電波を使用しているため、他の無線電話機または高周波雑音の影響を受け、混信したり雑音が入ることがあります。
- テレビ、ラジオおよび他の無線機等に妨害を与えた場合はご使用を停止してください。
- この電話機は小電力タイプのデジタルコードレス電話機ですので、親機と子機を直線距離(見通しの良い場合)で約100m離しても通話できます。なお、環境によって変化します。
- この電話機のようなデジタルコードレス電話機で使用している電波は、光に近い直進性をもっています。このため、アナログタイプのコードレス電話機よりも電波が届かない場合があります。ご使用を開始する前に、電波の届く範囲を確認して親機の設置位置を決定してください。なお、配線の変更が必要となる場合は販売店に依頼してください。アナログタイプのコードレス電話機と混在させることは可能です。
- この電話機は、システム内に事業所用PHS接続装置を設置することで、1システムに20台まで設置することができます。ただし、同時通話は最大8台までとなりますので、発着信がしづらい場合は少し時間をおいてから再度操作してください。事業所用PHS接続装置を設置していない場合は、この電話機の1台をマスターとし、他のこの電話機を無線同期させることで、電話機間の電波干渉の影響を軽減させることができます。ただし、システム内に設置してある事業所用PHS接続装置の電波範囲(目安：室内：50m、屋外：100m)にこの電話機を設置している場合は、電話機間での無線同期を行わないようにしてください。この電話機の他に家庭用デジタルコードレス電話機を混在させて使用する場合は、1システムの設置台数はおおよそ4～8台までとなります。ただし、電波の状況により設置台数が制限される場合があります。複数台設置する場合は、各親機の間隔は2m以上離して設置してください。また、この電話機を含むデジタルタイプのコードレス電話機とアナログタイプのコードレス電話機とを混在させることは可能ですが、デジタルタイプの親機とアナログタイプの親機の間隔を4m以上離して設置してください。電波の状況によってはさらに離す必要があります。
- 通話中の電波の状態によっては音声が低くなったり、雑音が入ったりすることがあります。このような場合は体の向きを変えたり、場所を変えたりすると改善される場合があります。
- テレビやOA機器などの近くで使用すると雑音の影響を受けることがあります(P.7参照)。
- 他の無線電話機または高周波雑音の影響を受け、混信したり雑音が入ることがあります。
- 一般電話機や、スピーカ、テレビ、ラジオなどの近くで利用すると、誤動作、雑音混入が発生する場合がありますので注意してください。
- この電話機は、事業所用PHSシステムや家庭用デジタルコードレス電話機と同じ周波数の電波を使用しています。このため、1システム内で混在して使用する場合は「時々応答できない」、「時々着信鳴動しない」、「時々圏外表示になる」などの現象が起こることがあります。これは、次のような仕様によるものです。なお、「時々応答できない」、「時々発信できない」場合は、[通話]ボタンのランプが消えた状態になったら、一度[切]ボタンを押してから[通話]ボタンを押せば無線接続が再試行されます。
 - (1) 親機と子機間の発着信などの情報のやり取りは、まず制御チャネルで行われ、その後実際に情報のやり取りを行う通話チャネルに移行します。この制御チャネルは2チャネルであり、電話機間などで共用しています。
 - (2) 事業所用PHSシステムにおいて、各接続装置は百数十ミリ秒間隔の中で子機との通信を行うタイミングが互いに重ならないように制御しています。しかし、この電話機と家庭用デジタルコードレス電話機は独自の通信タイミングで制御するため、電波の混み合った場所に設置されている場合は制御チャネル上で互いの通信がぶつかり、接続が遅れたり接続できないことがあります。
 - (3) 事業所用PHSシステムの接続装置とは無線の同期を行い、お互いに干渉を起こさないようにしています。しかし、相互の影響が完全になくなるわけではありません。
- この電話機は電波を使用している関係上、コールコード付電話機よりも作動時間が2～3秒間遅れる場合があります。ただし、電波環境によってはそれ以上遅れる場合があります。
- コードレス電話機の不法改造は法律で禁じられています。
- この電話機は電波法施行規則第6条の規則下で運用されるものです。

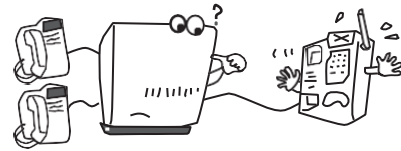
特に注意していただきたいこと

この電話機は電波を使用している関係上、カールコード付電話機に比べて周辺環境などの影響を受けやすくなっています。より快適にお使いいただくために次のような場所での使用はできるだけ避けてください。

- テレビ、ステレオなど強い磁気が発生する機器の近く。

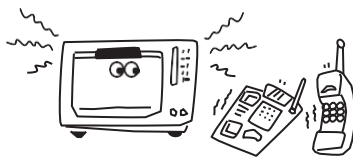


- 交換機の近く。



(交換機と親機間は4m以上離してください)

- 高周波を発生する機械設備や電気溶接機のあるところ。

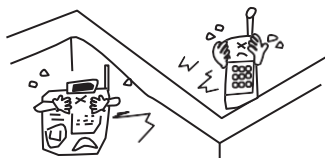


- ほかの親機の近く。

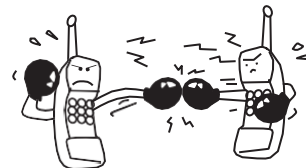


(他社製も含む)

- 見通しの悪いところ。



- ほかの子機の近く。

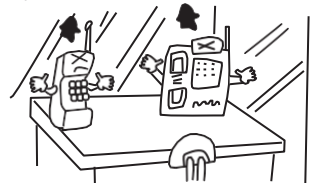


(他社製も含む)

- コンピュータなどマイコンを搭載した機器の近く。



- 壁の近く。



- 放送局、アマチュア無線、CB無線など電波の強いところ



- すぐ近くをバイクや車が通るところ。



この電話機を廃棄するときは

- この電話機を廃棄するときは、環境保護と再資源化を考慮して分別廃棄にご協力をお願いします。
(販売店にご相談ください)
- この電話機は電解コンデンサを使用していますので、火に投げ込まないでください。破裂したりして危険です。(子機に使用している充電電池はニッケル水素電池です。対応については「詳細取扱説明書 子機編」を参照してください)

ご使用にあたって

この電話機使用時の留意点

- 重要な内容（登録した方の名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。
- この電話機は、使用方法を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、故障したとき、または修理するときに記憶内容が変化・消失することがあります。
- 子機のマイク側に臭い消しを付ける場合は、できるだけ薄いもの(約0.5mm)をご使用ください。厚めのものを使用すると子機を親機に戻しても電話が切れなくなる、または充電ができなくなることがあります。
- 使用中の携帯電話を、この電話機に近づけると通話にノイズが入ることがあります。

純粹經濟損害について

- 電話機の故障、誤操作、不具合あるいは停電などの外部要因などにより、利用の機会を逸したために発生した純粋経済損害および記憶内容が正しく保存されなかったり、呼び出しができないことによって発生した付随的損害の保証につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください

サービス機能の利用にあたって

- この説明書中のサービス機能によっては、販売店によるデータ設定および機器の追加が必要となるものがあります。販売店に確認してください。

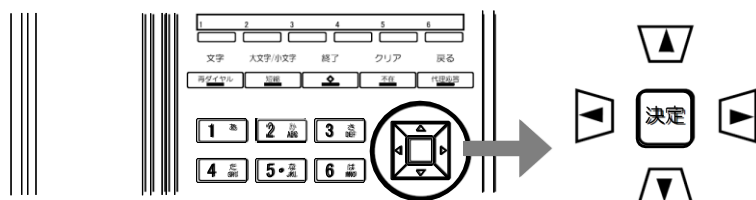
取扱説明書について

- ご使用の前に、この説明書および付属されている他の取扱説明書をお読みください。
- この説明書をお読みにになったあとも、いつでも見られる場所に保管してお使いください。なお、この説明書を紛失したり破損したりして読めなくなった場合は、お買い上げの販売店にてお求めください。

記載表示について

■ 十字ボタン

この説明書では、十字ボタンの図を下記のように簡略化しています。



■画面表示

この説明書で記載されている画面は、実際の画面とは異なっています。

- ## ■実際の画面

選択した項目（たとえば下図の例では「1 電話帳」）が白抜き文字になり、未選択項目は番号だけが白抜き文字になります。

- ## ■本説明書での表記

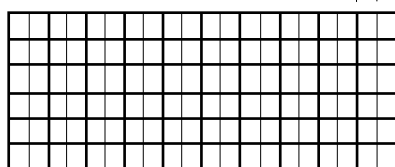
選択した項目は網掛け表記に置き換えています。

1	電 話 帳
2	履 歴
3	電 話 機 設 定 1
4	電 話 機 設 定 2
5	ロ ッ ク
6	ア ラ ー ム

1	電 話 帳	
2	履 歴	
3	電 話 機 設 定	1
4	電 話 機 設 定	2
5	ロ ッ ク	
6	ア ラ ー ム	

画面の文字数と待機表示画面は次のとおりです。

文字数表示



列：全角10文字 半角20文字
行：6行


 全角エリア
 半角エリア

待機画面

① 内線番号 200
② 04月 27日 (水) 15: 00 ③
着信音量 ■ □ □ □ □ □
④

- ① 内線番号
② 月日(曜日)
③ 時刻
④ 着信音量
最小：■□□□□
最大：■ ■ ■ ■ ■

子機に電池を取り付ける／充電する

添付品の充電電池を取り付けて充電してください。初めて使用するときは、必ず一度フル充電してから使用してください。（詳細取扱説明書 子機編のP.12参照）

子機を親機に正しく乗せる。



充電中ランプが赤点灯します。

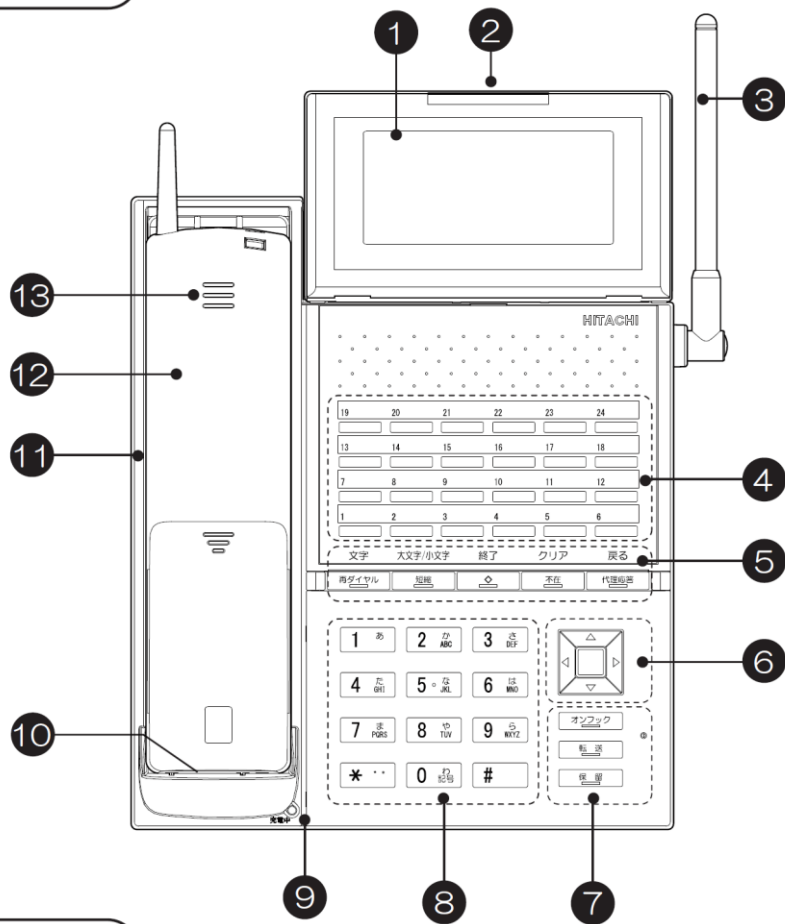


NOTE

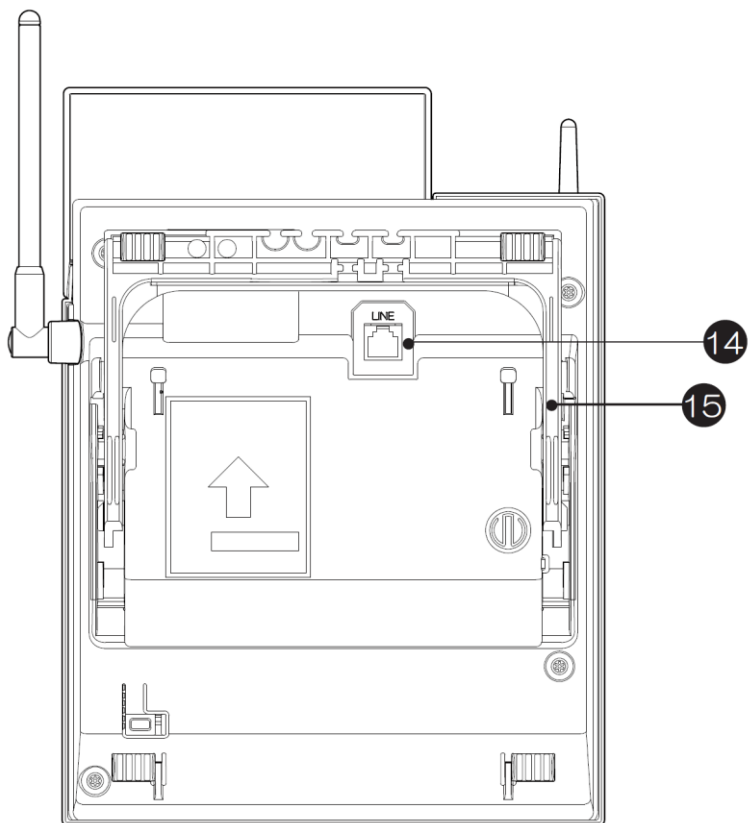
1. フル充電される目安は約12時間です。なお、フル充電になっても、充電中ランプの色は赤点灯のままです。
 2. フル充電状態から継続して通話できる時間は、約5時間です。
 3. フル充電状態から継続して待機できる時間は約200時間です。
- ※ 上記3項目ともに、待機状態でラインキー表示とLCDバックライトがOFFのときです。

各部の名称と機能

正面



裏面



① 表示器

入力した電話番号や、かかってきた電話番号などを表示します。

② 着信ランプ

着信時に点滅します。

※フリーファンクションボタンに着信時は点滅しません。

③ アンテナ

④ フリーファンクションボタン

外線を収容します。空きボタンは設定により特殊ボタンとして使用できます。

⑤ 機能ボタン（5個）

 再ダイヤル／文字ボタン

直前にかけた相手に再度かけるときや、文字入力時に文字種を切り替えるときに使います。

 短縮／大文字／小文字ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときや、文字入力時に大文字／小文字を切り替えるときに使います。

 ◇／終了ボタン

ダイヤルボタンを押し間違えた際に捕捉している回線を一度切るとき（販売店の設定により、本機能とは別機能にもなります）や、電話帳操作を終了するときに使います。

 不在／クリアボタン

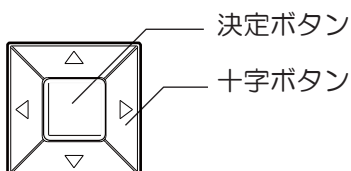
自席にかかってくる電話を行先の外線に転送するときや、電話帳操作時文字を消去するときに使います。

 代理応答／戻るボタン

近くの電話機の着信に応答するときや、電話機能メニューの1つ上の階層に戻るときに使います。

⑥ 十字／決定ボタン

電話帳登録時などのメニューを呼び出すときや、各種操作をするときに使います。



詳細は十字／決定ボタンの機能（P.76）をご覧ください。

⑦ 機能ボタン（3個）

 オンフックボタン

子機を置いたままダイヤルするときなどに使います。

 転送ボタン

通話中の電話を他の外線にまわすときに使います。

 保留ボタン

通話中の相手を一時待たせるときなどに使います。

⑧ ダイヤルボタン

電話番号や文字、記号を入力するときに使います。

⑨ 充電中ランプ

子機を受台に乗せると、充電が始まり赤点灯になります。フル充電になっても赤点灯のままです。

⑩ 充電端子

子機の充電をする端子です。

⑪ スピーカ（親機）

オンフックダイヤルを利用時、相手を呼び出す音などが聞こえます。

⑫ 子機

相手と通話するときに使います。

⑬ スピーカ（子機）

子機をスピーカ受話状態にしたときに、相手を呼び出す音などが聞こえます。

⑭ LINE

回線コードを接続します。

⑮ 角度アダプタ

電話機の角度を変えるときに使います。

目次

第1章

基本操作

15

第2章

便利な機能

23

第3章

付加機能

33

第4章

画面からの 機能設定

35

● ご使用の前に	2
● 安全のために必ずお守りください	3
● 付属品を確認する	5
● IDコードを確認する	5
● この電話機の特性と取り扱いについて	6
● ご使用にあたって	8
● 子機に電池を取り付ける／充電する	9
● 各部の名称と機能	10
● 目次	12
● 第1章 基本操作	15
● 外線 基本操作	16
● 子機を上げてかける	16
● 子機を置いたままかける	16
● システム短縮ダイヤルでかける	16
● 可変短縮ダイヤルでかける	16
● ワンタッチオートダイヤルでかける	18
● 最後にかけた相手に再度かける	18
● 電話を受ける	18
● 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする	19
● 通話中の相手を他の内線に転送する	19
● 内線 基本操作	20
● 子機を上げてかける	20
● 子機を置いたままかける	20
● ワンタッチダイヤルでかける	20
● 相手を音声で呼び出す	20
● 電話を受ける	21
● 通話中の相手を他の内線に転送する	21
● 第2章 便利な機能	23
● 外線 便利な機能	24
● 外線発信した電話番号を一時記憶させる	24
● 通話中にプッシュ(PB)信号を出す	25
● 内線 便利な機能	26
● 相手が話中のため別の内線にかける	26
● 相手が話中のためそのまま通話終了を待つ	26
● 相手が話し終わったら自動的に呼び出す	26
● グループ内の電話着信を自席の電話で受ける	27
● 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう	27
● 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける	27
● 不在中にかかってきた内線にメッセージで知らせる	28
● 外線・内線 便利な機能	29
● 短縮ダイヤルの登録内容を確認してかける	29
● 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する	31
● 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする	31
● 一時的に電話がかかってこないようにする	32
● 通話を個別に保留する	32
● 第3章 付加機能	33
● 付加機能	34
● 通話中に割込んできた電話に応答する	34
● 3人で話す	34
● 第4章 画面からの機能設定	35
● 画面からの機能設定	36
● 設定項目について	36
● 操作画面について	36
● 電話帳に登録する	37
● 電話帳を検索して電話をかける	39
● 電話帳を編集する	41
● 履歴を使って電話をかける	42
● 履歴を保存する	43
● 履歴から電話帳に登録する	44
● 電話帳を消去する	45
● 履歴を消去する	46
● 短縮ダイヤルを電話帳に登録する	47
● グループ設定を変更する	48

第5章

各種登録

61

第6章

付録

73

● 着信種別に着信音を設定する	49
● ボタンごとに着信音を設定する	50
● 着信音を鳴らさない	51
● ボタン操作音を出さない	51
● 音量の初期値を設定する	52
● 画面コントラストを調節する	52
● 省電力モードにする	53
● 子機を呼び出す	55
● 電話機を初期化する	55
● 電話機をロックする	56
● アラームをセットする	57
● 電話機のソフトウェアバージョンを確認する	59
● 第5章 各種登録	61
● 登録項目について	62
● 操作画面について	62
● 個人短縮ダイヤルを登録する	63
● 個人短縮ダイヤルを編集する	64
● グループ短縮ダイヤルを登録する	65
● グループ短縮ダイヤルを編集する	66
● システム短縮ダイヤルを確認する	67
● 支店番号システム短縮ダイヤルを確認する	67
● ファンクションボタンに機能ボタンを登録する	68
● 内線名称を登録する	71
● Myナンバーを登録する	72
● 第6章 付録	73
● 各ボタンの文字割り当て	74
● 文字入力	75
● 十字／決定ボタンの機能	76
● 機能メニューの表示	77
● 機能メニュー一覧	78
● こんなメッセージが出たら	84
● 故障かな？と思ったら	85
● 電話機の角度を変える	86
● 画面の角度を変える	86
● タイムメッセージ	87
● 主な仕様	87

MEMO

第1章



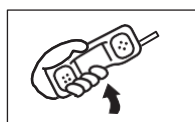
基本操作

本章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

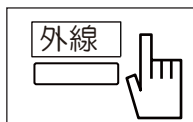
外線 基本操作

子機を上げてかける

オフフックダイヤル

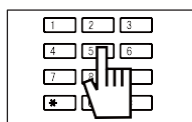


1. 子機を上げる。



2. 空いている外線ボタンを押す。

・ 外線ランプが緑点灯になります。

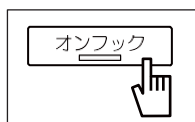


3. 相手番号をダイヤルする。

● 子機が“クイック通話”設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。“クイック通話”設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話]ボタンを押してください。なお、[通話]ボタンが点滅から点灯に替わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切]ボタンを押した後に[通話]ボタンを押してください。無線接続を再開します。続いて[外線]ボタンを押してください。

子機を置いたままかける

オンフックダイヤル



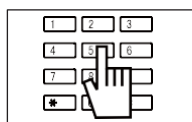
1. オンフックボタンを押す。

・ オンフックランプが青点灯になります。



2. 空いている外線ボタンを押す。

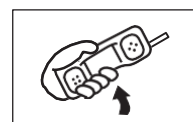
・ 外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。



4. スピーカで相手の応答を確認する。



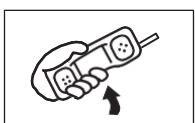
5. 子機を上げる。

● 子機が“クイック通話”設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。“クイック通話”設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話]ボタンを押してください。なお、[通話]ボタンが点滅から点灯に替わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切]ボタンを押した後に[通話]ボタンを押してください。無線接続を再開します。続いて[外線]ボタンを押してください。

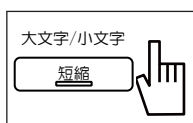
システム短縮ダイヤルでかける

システム短縮ダイヤル

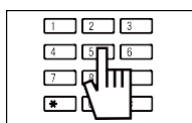
全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。



1. 子機を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



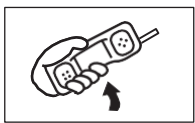
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめシステム短縮ダイヤルに相手先を登録してください。
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されます。（発信操作P.17）

可変短縮ダイヤルでかける

可変短縮ダイヤル

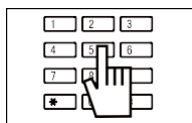
グループ用と個人用があります。システム短縮ダイヤルとは別枠で使用できます。



1. 子機を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



3. 短縮番号を押す。

- あらかじめ可変短縮ダイヤルに相手先を登録してください。（登録P.63、65）
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されるか、お客様がご自身でも登録できます。この場合は、第5章の「各種登録」を参照してください。

システム短縮／可変短縮ダイヤルの発信操作

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で利用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中で使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

本内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、次の①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。
2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（×××）が変わります。

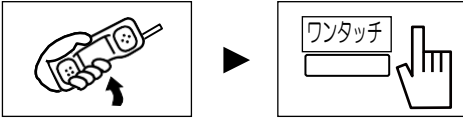
可変短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、次の①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。
2. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
発信操作方法ごとにどちらか選択になっています。
3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（××）が変わります。

短縮ダイヤル		
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
		グループ用 個人用
発信操作	① 短縮+ <u>×××</u> ② 短縮+ * + <u>×××</u> ③ 短縮+ # + <u>×××</u>	① 短縮+ <u>××</u> ② 短縮+ * + <u>××</u> ③ 短縮+ # + <u>××</u>
	下線の部分が短縮番号です。登録のとき、 * 、#も一緒に入力してください。	
短縮番号	●短縮番号の桁数は、登録相手数の最大数によって変わります。 (例) ■10件のとき : 0 (1件目) ~ 9 (10件目) ■100件のとき : 00 (1件目) ~ 99 (100件目) ■1,000件のとき : 000 (1件目) ~ 999 (1,000件) ■2,000件のとき : 0000 (1件目) ~ 1999 (2,000件目) ■10,000件のとき : 0000 (1件目) ~ 9999 (10,000件目) ※ システム短縮ダイヤルは、最大10,000件です。 ※ 可変短縮ダイヤルは、最大100件です。	

ワンタッチオートダイヤルでかける

ワンタッチオートダイヤル

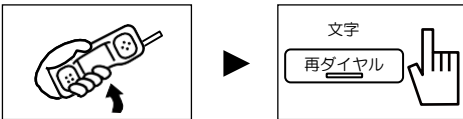


1. 子機を上げる。
2. ワンタッチボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンをワンタッチオートダイヤルボタンとして使用します。
- あらかじめワンタッチボタンに外線相手を登録してください。（登録P.68）

最後にかけた相手に再度かける

ラストナンバーリダイヤル



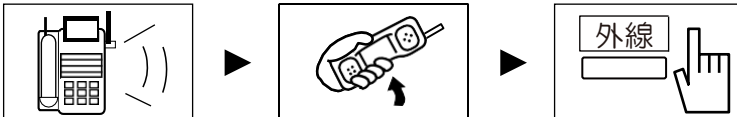
1. 子機を上げる。
2. 再ダイヤルボタンを押す。

- 「セーブダイヤル（P.24）」を有効にすると、本機能は使用できなくなります。
- 本機能でかけることができる相手先（①外線のみ ②外線・専用線 ③外線・専用線・内線）は取り付け時に設定されます。販売店に確認してください。

電話を受ける

外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける （ストレートライン応答）

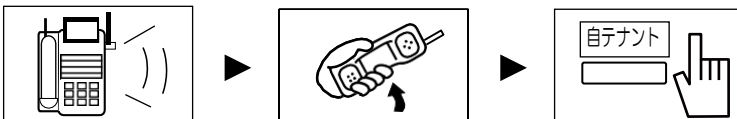


着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. 子機を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。
・ 外線ランプが緑点灯になります。

- 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、子機を上げると即応答になります。

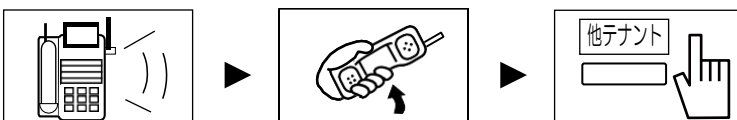
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける （自テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 子機を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

③ 他テナントの着信をボタンで受ける （他テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 子機を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

- 子機が「クイック通話」設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。「クイック通話」設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話]ボタンを押してください。
- なお、[通話]ボタンが点滅から点灯に替わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切]ボタンを押した後に[通話]ボタンを押してください。無線接続を再開します。続いて[外線]ボタンを押してください。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留

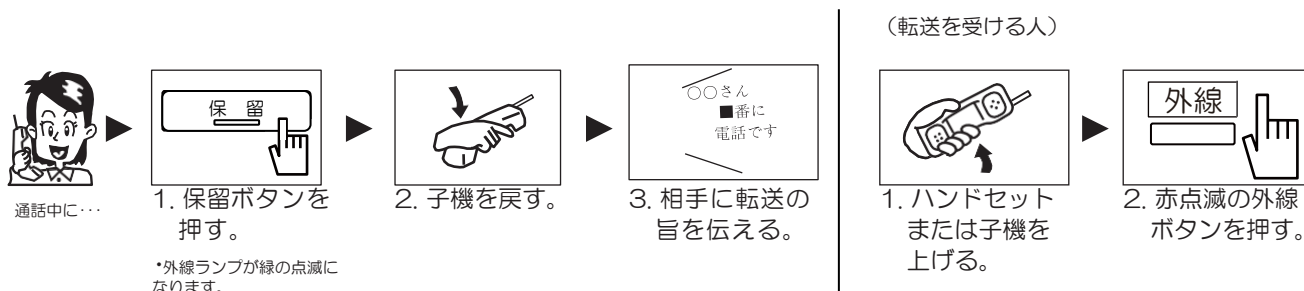


- 本方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は、相手にメロディが流れます。

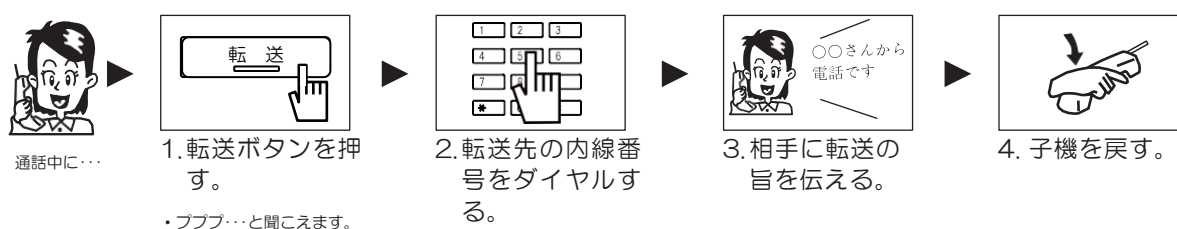
通話中の相手を他の内線に転送する

転送

① 近くの人に転送する（保留転送）



② 遠くの人に転送する（自動転送）

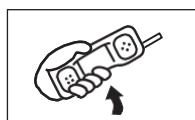


- 操作3. で、転送先が話中または応答がないときは、再度[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

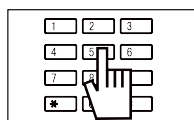
内線 基本操作

子機を上げてかける

オフフックダイヤル



1. 子機を上げる。

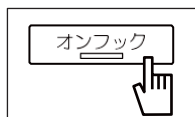


2. 相手番号をダイヤルする。

●子機が“クイック通話”設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。“クイック通話”設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話] ボタンを押してください。なお、[通話]ボタンが点滅から点灯に変わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切] ボタンを押した後に[通話]ボタンを押してください。無線接続を再開します。

子機を置いたままかける

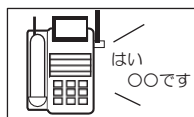
オンフックダイヤル



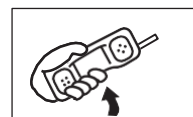
1. オンフックボタンを押す。



2. 相手番号をダイヤルする。



3. スピーカで相手の応答を確認する。



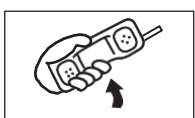
4. 子機を上げる。

・ オンフックランプが青点灯します。

●子機が“クイック通話”設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。“クイック通話”設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話] ボタンを押してください。なお、[通話]ボタンが点滅から点灯に変わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切] ボタンを押した後に[通話]ボタンを押してください。無線接続を再開します。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



1. 子機を上げる。



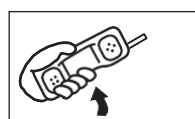
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

- 空いている外線ボタンを[内線ワンタッチダイヤル] ボタンとして使用します。
- あらかじめ内線相手先を登録してください。(登録P.68)

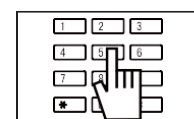
相手を音声で呼び出す

音声呼出し

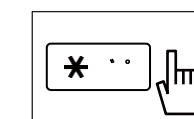
相手電話機では、ハンドセットまたは子機を取り上げなくても、スピーカから発信音の呼び出し音声がかかります。



1. 子機を上げる。



2. 相手番号をダイヤルする。



3. 呼び出し音が聞こえているときに[*]を押す。

・ 冒頭音(ブーッ)が聞こえます。



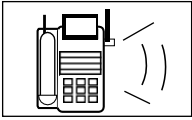
4. 相手を呼び出す。



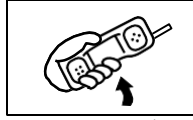
- 操作3. で[*]を押すたびに、相手の電話機で音声呼び出しと信号音呼び出しとが交互に替わります。
- 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

電話を受ける

内線応答



着信音が鳴り、オンフックランプが速い点滅になります。



1. 子機を上げる。

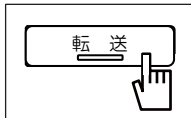
- 子機が“クイック通話”設定になっていると、子機を取り上げるだけで親機と子機が無線接続になります。“クイック通話”設定になっていない場合は、子機を取り上げてから[通話] ボタンを押してください。なお、[通話] ボタンが点滅から点灯に替わらない場合は無線接続に失敗しています。このときは一度[切] ボタンを押した後に[通話] ボタンを押してください。無線接続を再開します。

通話中の相手を他の内線に転送する

転送

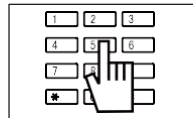


通話中に...



1. 転送ボタンを押す。

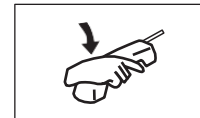
・ブブブ…と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。



3. 相手に転送の旨を伝える。

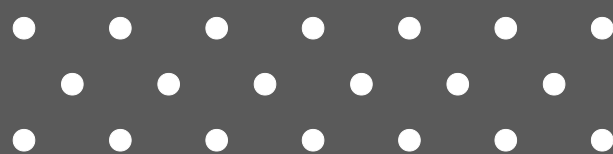


4. 子機を戻す。

- 操作3. で、転送先が話中または応答がないときは、再度[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

MEMO

第2章



便利な機能

本章は、電話機を更に使いこなすための機能についての説明です。

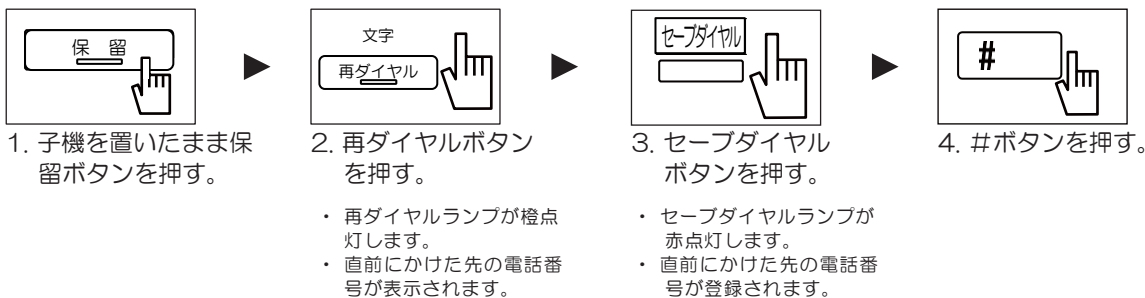
外線 便利な機能

外線発信した電話番号を一時記憶させる

セーブダイヤル

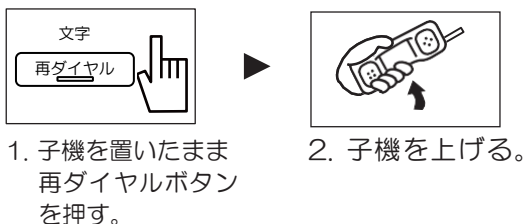
外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておくことができます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

登録

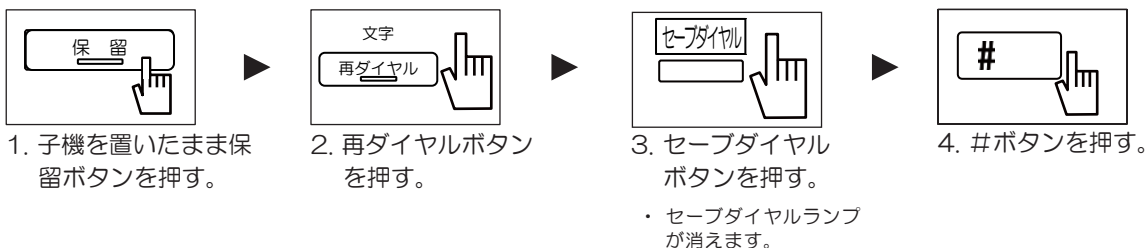


● 外線が収容されていない空きボタンを「セーブダイヤル」ボタンとして使用します。

発信



解除



● セーブダイヤルボタンの登録は、取り付け時に販売店によって設定されるか、お客様がご自身でも登録することができます。この場合は、第5章「各種登録」を参照してください。

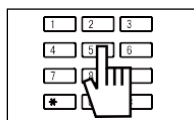
通話中にプッシュ(PB)信号を出す

P B 信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ（PB）信号を必要とするサービスを利用することができます。



通話中に...



1. ダイヤルする。

- プッシュ信号でダイヤルが送出されます。

内線 便利な機能

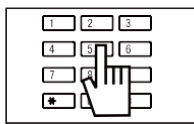
相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号 1 桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線を呼び出せます。一度電話を切って再度かけ直す手間が省けます。



相手が話し中
または
応答がない...



1. 末尾 1 桁をダイヤルする。

〈例〉内線 3 1 0 が話中 → 2 をダイヤル → 内線 3 1 2 を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

オフフックキャンプオン

かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手がハンドセットを戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。



話中音が
聞こえている...



1. 登録音が聞こえる。



2. そのまま待つ。



3. 相手がハンドセットを戻すと呼び出し音に変わる。



4. 相手が応答したら通話する。

- 「オフフックキャンプオン」と「オンフックキャンプオン」は排反設定になります。（販売店設定）

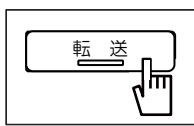
相手が話し終わったら自動的に呼び出す

オンフックキャンプオン

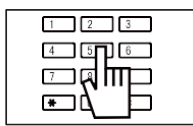
かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくで相手が話し終わり次第呼び出します。



話中音が
聞こえている...



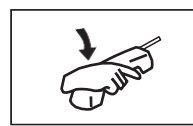
1. 転送ボタンを押す。



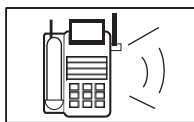
2. 待合せ特番押す。



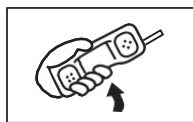
3. 登録音が聞こえる。



4. 子機を戻す。



5. 相手が話し終わると呼び返し音がします。



6. 子機を上げる。

- ・ 呼び出し音が聞こえます。
相手の応答を待ってください。

- オンフックキャンプオン機能は、取り付け時に設定されます。（販売店設定）
- 子機を戻さないことで、オフフックキャンプオンと同じ機能を利用できます。

グループ内の電話着信を自席の電話で受ける

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答することができます。



- 代理応答グループは取り付け時に設定されます。(販売店設定)

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

＜該当：留守中着信表示サービスが有効に設定されている場合＞

内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくで相手の電話機にこちらの内線番号を表示させておくことができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうことができます。

セット



相手の電話機【表示例】

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□



・転送ランプが遅い点滅になります。

- 留守中着信表示サービスの有効/無効は、取り付け時に設定されます。(販売店設定)

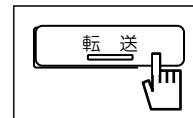
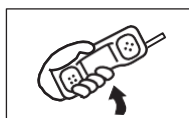
連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「着信あり」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。

【表示例】

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□



・転送ランプが遅い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。

1. 子機を上げる。

2. 転送ボタンを押す。

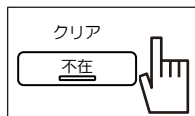
- 留守中着信の受け付けは最大5件です。
- 2件以上受け付けているとき、本操作でダイヤルされるのは、留守中着信表示の内線番号です。
- 2件以上受け付けているとき、子機を置いたまま[転送]ボタンを押すと、2件目の内線番号に切り替わります。さらに[転送]ボタンを押し続けると、3件目以降の内線番号に切り替わります。
- 受け付けている内線番号表示を消すときは、子機を置いたまま[不在]ボタンを押してください。

不在中にかかってきた内線にメッセージで知らせる

不在メッセージ

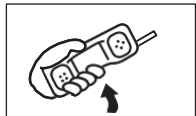
席を外するときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

登録

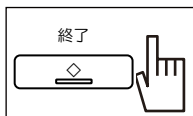


1. 子機を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。（※1）



2. 子機を上げる。

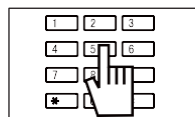


3. ◇ボタンを押す。

・◇ランプが橙点灯します。

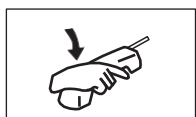


4. 不在メッセージ番号（1～9, 0）を押す。



5. 続けて下表の時・分・日付などを入力する。

・入力内容のチェック機能はありません。

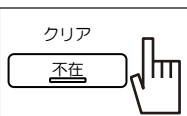


6. 登録音が聞こえたら子機を戻す。

（※1）この操作は省略できます。

不在メッセージ番号	表示内容
1	××:×× まで 不在 時 分
2	××:××:×× に 戻ります 時 分
3	×× 日 まで 休み 日付
4	×× 日 まで 出張 日付
5	×× 日 に 出社 日付
6	×××× で 会議中 内線番号
7	××:××:×× まで 休憩中 時 分
8	××:××:×× まで 食事中 時 分
9	××:××:×× まで 外出中 時 分
0	帰宅しました

解除



1. 子機を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

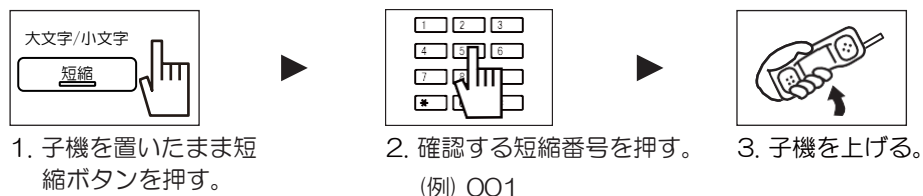
外線・内線 便利な機能

短縮ダイヤルの登録内容を確認してかける

短縮ダイヤル検索発信

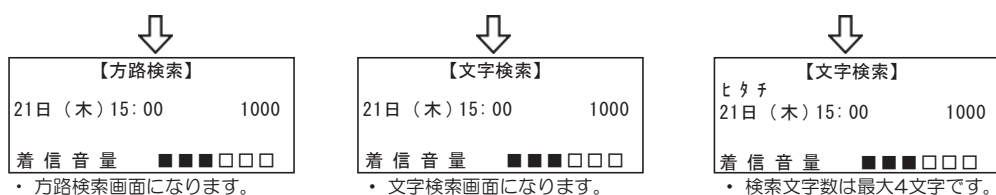
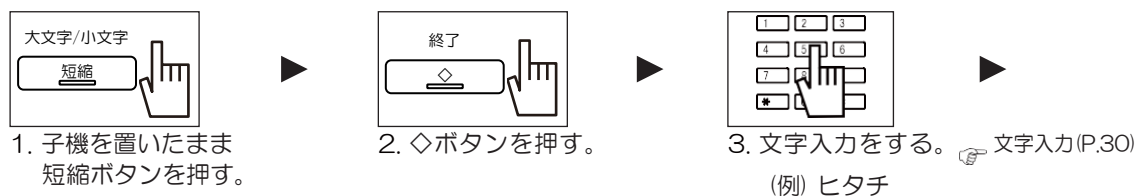
短縮ダイヤルに登録されている内容（短縮番号または名称）を、確認してから電話をかけることができます。

① 短縮ダイヤルのコード番号を確認してかける（番号検索発信）



・方路番号（表示器の三行目）に対応した名称（表示器の一行目）、電話番号（表示器の二行目）が表示されます。

② 短縮ダイヤルの登録名称を確認してかける（名称検索発信）



・名称（表示器の一行目）に対応した電話番号（表示器の二行目）、方路番号（表示器の三行目）が表示されます。

● 操作2. で[短縮]ボタンを押すと方路検索に変わります。

短縮ダイヤル名称検索での文字入力

各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力してください。
なお、文字は半角で入力されます。

- 同じ文字を連続させるときは、[#]ボタンを押してください。
- 文字を消去するときは、[*]ボタンを押してください。
- 操作をキャンセルする場合は、[不在]ボタンを押してください。
- 子機を上げると、それまで表示していた名称は消えます。

ご注意

本文字入力の内容は、短縮ダイヤルの登録内容を検索する場合だけのものです。（各ボタンの文字割り当て(P.74)とは別のものです）

ボタン	文字種
1 あ	アイウエオ1
2 か ABC	カキクケコABC2
3 さ DEF	サシスセソDEF3
4 た GHI	タチツテトGHI4
5 な JKL	ナニヌネノJKL5
6 は MNO	ハヒフヘホMNO6
7 ま PQRS	マミムメモPQRS7
8 や TUV	ヤユヨTVU8
9 ら WXYZ	ラリルレロWXYZ9
0 わ 記号	ワラン° 0

NOTE

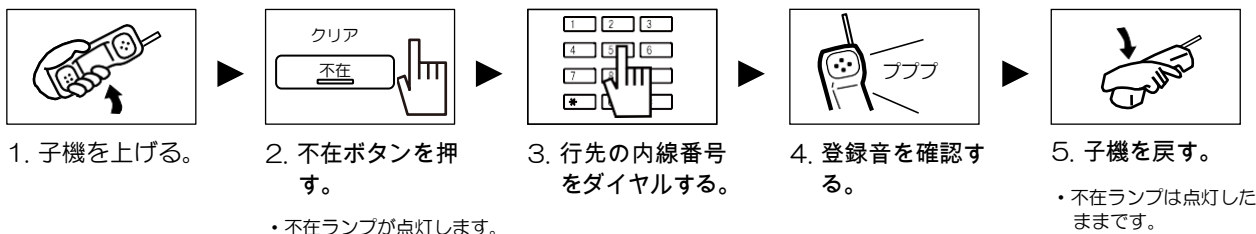
- この機能は、取り付け時に設定されます。設定されているかどうかは、販売店に確認してください。
- 「文字検索」を利用できるのは下記の条件の場合です。
 - ・ [◇]ボタンがフッキング機能になっていること。
 - ・ 短縮ダイヤル情報に「読み仮名」が登録されていること。
- この機能を利用中は、話中状態になります。

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

可変不在転送

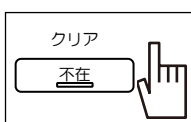
他の場所で打合わせなどをするとともに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

登録



● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手呼び出します。

解除



1. 子機を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

自己保留

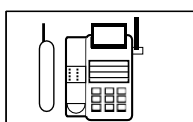
自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録



1. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが緑点灯になります。



2. 子機を外しておく。



… この間は保留中 …



解除



3. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが消えます。

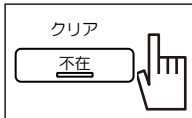
- 外線が収容されていない空きボタンを、[自己保留]ボタンとして使用します。(販売店設定)
- 本方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
- 保留中は相手にメロディが流れます。
- 操作2. で子機を戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、子機を上げて、もう一度自己保留操作をしてください。

一時的に電話がかかってこないようにする

着信拒否

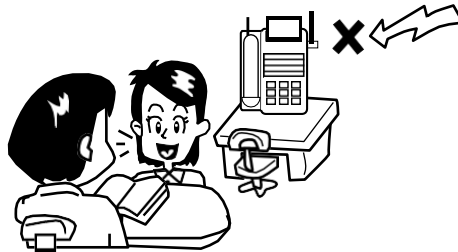
電話を一時的に受けたくないとき、着信拒否を登録しておく、その間は着信を拒否することができます。

登録



1. 子機を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。



- 着信拒否を登録中に電話をかけてきた相手には、下記の音が聞こえます。

着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオーダー音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
DI（ダイヤルイン）着信	呼び出し音または話中音
DIL（ダイレクトインライン）着信	呼び出し音
DID（ダイレクトインダイヤル）着信	呼び出し音または話中音

解除



1. 子機を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

通話を個別に保留する

共通保留

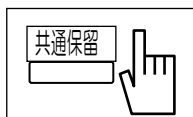
＜該当：[共通保留] ボタンが設定されている場合＞

通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻ることができます。

登録

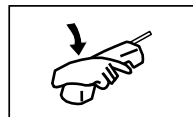


通話中に…



1. 共通保留ボタンを押す。

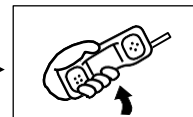
・共通保留ランプが緑点滅になります。



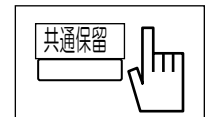
2. 子機を戻す。

…この間は保留中…

解除



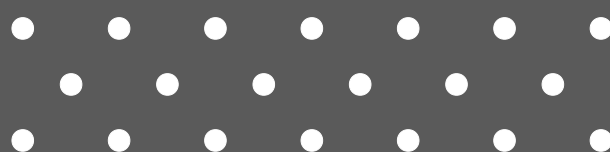
3. 子機を上げる。



4. 緑点滅している共通保留ボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンを、[共通保留] ボタンとして使用します。（販売店設定）

第3章



付加機能

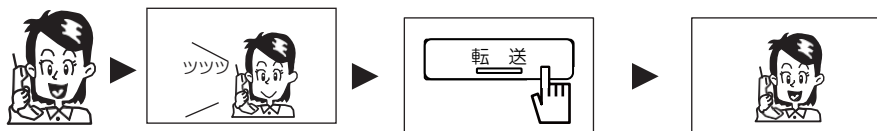
本章は、電話機の付加機能についての説明です。
交換機の構成によっては、提供されない付加機能
があります。販売店に確認してください。

付加機能

通話中に割込んできた電話に応答する

通話中着信表示

内線（A）と通話中に内線（B）から電話がかかってくると、特殊な着信音が聞こえます。通話中の相手に待ってもらい、かかってきた電話に応答できます。



内線（A）と
通話中・・・

1. 内線（B）から
着信が入る。

・転送ランプが速い点滅にな
ります。

2. 転送ボタンを
押す。

- 操作3. の後で、[転送]ボタンを押すと、内線（B）が保留されて内線（A）との通話になります。[転送]ボタンを押すごとに通話相手が変わります。

3人で話す

三者通話

① 外線1人と内線2人で通話する（一外線三者通話）

外線と通話中に、内線相手を呼び出して3人で通話できます。

NOTE

この機能は、取り付け時に設定されます。
設定されているかどうかは、販売店に確認してください。



外線と
通話中に・・・

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ・・・と聞こえます。

2. 呼び出す相手内線
番号を押す。

3. 相手にその旨を伝え
る。

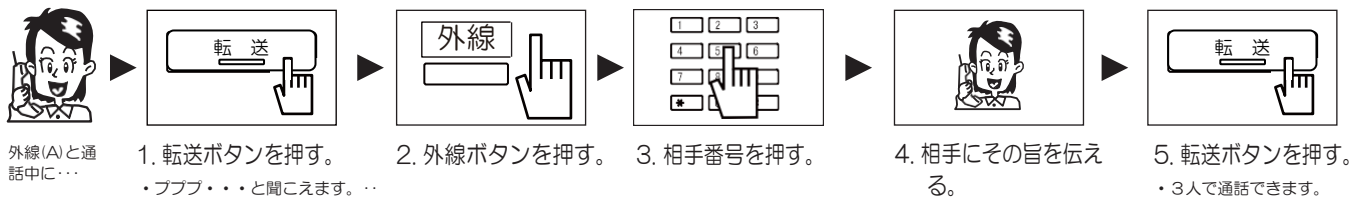
4. 転送ボタンを押す。

・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、[転送]ボタンを押すごとに「外線との2者」→「3者」→「内線との2者」→「3者」に変わります。
- 三者通話を始めた人が子機を戻すと、あとの2人での通話になります。

② 外線2人と内線1人で通話する（二外線三者通話）

外線（A）と通話中に、もう1人の外線（B）を呼び出して3人で通話できます。



外線(A)と通
話中に・・・

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ・・・と聞こえます。...

2. 外線ボタンを押す。

3. 相手番号を押す。

4. 相手にその旨を伝え
る。

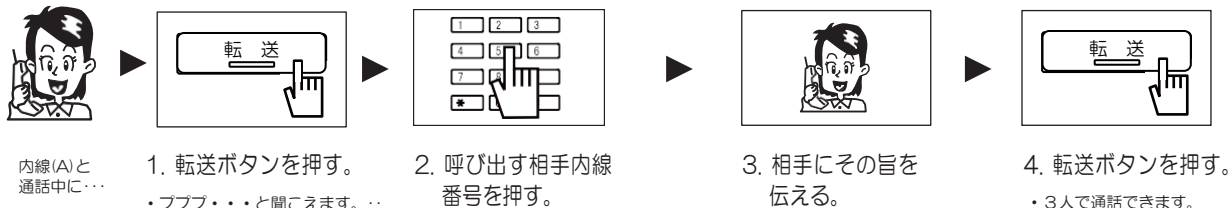
5. 転送ボタンを押す。

・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは[キャンセル]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- [キャンセル]ボタンは、外線が収容されていない空きボタンに登録します。（登録 P. 68）
- 操作5. の後、[転送]ボタンを押すごとに「外線（A）との2者」→「3者」→「外線（B）との2者」→「3者」に変わります。
- 三者通話を始めた人が子機を戻すと、あとの2人での通話になります。

③ 内線3人で通話する（内線三者通話）

内線（A）と通話中に、もう1人の内線（B）を呼び出して3人で通話できます。



内線(A)と
通話中に・・・

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ・・・と聞こえます。...

2. 呼び出す相手内線
番号を押す。

3. 相手にその旨を
伝える。

4. 転送ボタンを押す。

・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、[転送]ボタンを押すごとに「内線（A）との2者」→「3者」→「内線（B）との2者」→「3者」に変わります。
- 三者通話を始めた人が子機を戻すと、あとの2人での通話になります。

第4章

画面からの 機能設定

本章は、各種機能を電話機の画面から設定する説明です。

- 本章の内容の操作は、すべて子機を置いたままで操作します。
- 本章の内容を操作中に、電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。各種データが保護できず、情報の一部またはすべてが消失したり、電話機が故障する場合があります。
- 電話機を修理する場合は、電話機設定内容や電話帳データは保護されません。お客様への返却時は工場出荷（初期）状態になります。

画面からの機能設定

設定項目について

電話機の画面から下記の項目を設定することができます。

システム関係

項 目	入力モード	内 容
1 電話帳登録 (P.37)	画面入力	電話帳に相手番号を登録します。
2 電話帳検索 (P.39)		電話帳に登録してある相手に発信します。
3 電話帳編集 (P.41)		登録してある電話帳を編集します。
4 履歴発信 (P.42)		発信／着信履歴に残っている相手先に発信します。
5 履歴保存 (P.43)		発信／着信履歴として保存する条件を設定します。
6 発信履歴電話帳登録 (P.44)		発信／着信履歴に残っている相手先を電話帳に登録します。
7 電話帳消去 (P.45)		電話帳を消去します。
8 履歴消去 (P.46)		発信／着信履歴を消去します。
9 短縮ダイヤル電話帳登録 (P.47)		システム短縮ダイヤルに登録してある相手を電話帳に登録します。
10 グループ設定変更 (P.48)		グループ名や着信音などを設定します。

その他

項 目	入力モード	内 容
11 着信種別毎音色設定 (P.49)	画面入力	着信種別に電話がかかってきたときの音色（トーン）を選択します。
12 ボタン毎音色設定 (P.50)		ボタンごとに話がかかってきたときの音色（トーン）を選択します。
13 着信音の停止 (P.51)		電話がかかってきたときの音を停止できるようにします。
14 ボタン操作音の停止 (P.51)		ボタンを押したときに出る音を停止します。
15 音量の初期化 (P.52)		電話機電源をOFF/ONしても音量の設定を記憶します。
16 画面コントラスト調節 (P.52)		画面のコントラストを調節します。
17 省電力設定 (P.53)		電話機の画面バックライトと各種ボタンランプの節電ができます。
18 子機呼び (P.55)		親機が子機を呼び出します。
19 電話機初期化 (P.55)		電話機の各種設定内容を初期化します。
20 電話機ロック (P.56)		自分の電話機を他の人から操作できないようにロックします。
21 アラーム設定 (P.57)		指定した時刻にアラーム音を鳴らします。
22 電話機情報取得 (P.59)		電話機のソフトウェアバージョンを表示します。

操作画面について

上記の項目を設定するときは、次の操作でメニュー画面を開いてから操作します。

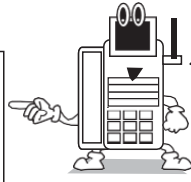
① 【待機画面】

内線番号 3000
 05 月 16 日 (月) 13 : 22
 着 信 音 量 ■■■□□□

待機画面で **決定** を押す。

② **トップメニュー画面**

1 電 話 帳
 2 履 歴
 3 電 話 機 設 定 1
 4 電 話 機 設 定 2
 5 ロ ッ ク
 6 ア ラ ム



・メニュー画面を起動中は、着信は受け付けません。
 また、発信側には話中として通知されます。
 ・メニュー画面を起動中、電話機操作しないまま約1分経過すると待機画面に戻ります。この場合編集
 中の内容は破棄されます。
 ・メニュー画面の操作を終了するときは、**終了** ボタン
 を押すと待機画面に戻ることができます。

操作するときは
メニュー画面に
するんだよ
これはトップ
メニュー画面と
言ってね
メニューの
入り口なんだ

- ・電話機をロックしてある場合は、パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力してください。

電話帳に登録する

電話帳登録

よくかける相手先をあらかじめ電話帳に登録しておくとお便利です。
登録する内容は以下のとおりです。

■登録内容と表示内容



必須項目(名前、電話番号1)は必ず入力してください。
入力がないと登録されません。

【電話帳 1 ページ目】

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 0 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
2 0 0 3 1 1 2 2 3 3 4 4
3 0 0 3 9 8 7 6 5 4 3 2

【電話帳 2 ページ目】

001
日立太郎
ヒタチタロウ
グループ 0 2
トーン 0 5
赤色

メモリ番号	001~500	自動入力
名前	全角10文字 (半角20文字)	必須入力
読み仮名	半角のみ 10文字	—
電話番号1の特番	5桁	—
電話番号1	32桁	必須入力
電話番号2の特番	5桁	—
電話番号2	32桁	—
電話番号3の特番	5桁	—
電話番号3	32桁	—
グループ	グループ01~20	名前可変
着信音	指定なし トーン01~12	—
着信ランプ色	指定なし 7色 連続点灯	—

NOTE

- 電話帳への登録は最大500件(メモリ番号: 001~500)です。空いているメモリ番号へ自動的に登録されます。
- 1件の電話帳に電話番号を3番号まで登録できます。なお、3番号登録しても電話帳の件数は減りません。
- 電話帳をグループに分けて管理できます。グループには「会社」「部」などの名前をつけることができます。電話帳を登録する前にグループ名を登録 (P.47) しておくとお便利です。
- 名前と電話番号の入力だけでも登録できます。ただし、検索条件が減ることになります。
- 電話帳に設定した名前を表示するのは、外線着信時に発信者番号を受信した場合だけです。内線または専用線着信時には電話帳の名前は表示しません。
- 電話帳に同じ電話番号が複数登録されていて、その電話番号から着信があると、先に登録された方のデータが優先表示されます。

【トップメニュー画面】

①

1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

②

1 検索
2 登録
3 グループ
4 電話帳読み込み
5 消去

「2 登録」を選択→
決定を押す。

③

1 名前(必須)
2 読み仮名
3 電話番号1の特番
4 電話番号1(必須)
5 確認/登録
← (1 / 2) →

「1 名前(必須)」を選択→
決定を押す。

画面からの機能設定（つづき）

④ 名前？ 名前を入力→
日立太郎 決定を押す。
漢全 文字入力(P.75)

⑤ 読み仮名？ 読み仮名を入力→
ヒタチタロウ 決定を押す。
カナ半

⑥ 電話番号1の特番？ 電話番号の特番を入力→
0 決定を押す。

- 電話番号1の特番を入力します。
- 特番は外線等にかける際に電話番号の前に付ける番号です。電話番号とは分けて入力してください。
- 特番は管理者にお問い合わせください。

⑦ 電話番号1 電話番号を入力→
0312345678 決定を押す。

⑧ 1 グループ登録へ 電話番号1件だけの登録
2 電話番号2の特番 時は「1 グループ登録へ」
3 電話番号2 を選択→
4 電話番号3の特番 決定を押す。
5 電話番号3

- 1件の電話帳に3番号まで電話番号を登録できます。複数登録する場合は「2」～「5」を選択してください。

【グループ選択 1 ページ目】

⑨ 1 グループ01 保存先のグループ
2 グループ02 を選択→
3 グループ03 決定を押す。
4 グループ04
5 グループ05
← (1 / 4) →

- グループ数は20です。
- グループ名称を変更していると変更した名称が表示されます。

【着信音選択 1 ページ目】

⑩ 1 指定なし 着信音を選択→
2 トーン01 決定を押す。
3 トーン02
4 トーン03
5 トーン04
← (1 / 3) →

- 「1 指定なし」にすると着信音は交換機指定の着信音、着信音設定で登録されたグループ着信音や着信形態で鳴ります。



- 電話帳に設定した着信音が鳴るのは、外線着信時に発信者番号を受信した場合だけです。内線または専用線着信時には電話帳に登録した着信音は鳴りません。
- 着信音および着信メロディを選択する場合は、販売店によりサウンド設定変更が必要です。

【着信ランプ色選択 1 ページ目】

⑪ 1 指定なし 着信ランプ色を選択→
2 赤色 決定を押す。
3 緑色
4 青色
5 黄色
← (1 / 2) →

- 電話帳に登録する外線番号については、個別に着信ランプ色を選択できます。
- 「1 指定なし」にすると、着信ランプ色はグループ着信色や着信形態で点滅します。

【電話帳 1 ページ目】

⑫ 001 内容を確認→
日立太郎 決定を押す。
ヒタチタロウ
100312345678
2
3

- これで電話帳に登録されました。
- 所属グループ/着信音/着信ランプ色を確認するときは ▽ を押してください。
- 各電話番号の19桁目以上を確認するときは ▶ を押してください。



- 決定を押さないで操作を終了すると、入力した内容は登録されずに消去されます。

電話帳を検索して電話をかける

電話帳検索

電話帳に登録されている相手先を探すときは、次の方法で検索してください。

読み仮名検索

- ①
- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |
- 「1 電話帳」を選択→
決定を押す。
- ②
- | |
|-----------|
| 1 検索 |
| 2 登録 |
| 3 グループ |
| 4 電話帳読み込み |
| 5 消去 |
- 「1 検索」を選択→
決定を押す。
- 【検索メニュー】
- ③
- | |
|-----------|
| 1 読み仮名検索 |
| 2 名前検索 |
| 3 グループ検索 |
| 4 電話番号検索 |
| 5 メモリ番号検索 |
- 「1 読み仮名検索」を選択→
決定を押す。

☞ 読み仮名検索以外の場合はここからP.40へ進んでください。

- ④
- | |
|-------|
| 読み仮名？ |
| ヒタチ |
| カナ半 |
- 読み仮名を入力→
決定を押す。
☞ 文字入力(P.75)

- ・未入力で を押すと、全電話帳を読み仮名順に並べて表示します。

【検索結果】

- ⑤
- | |
|---------------|
| 1 日立営業所 |
| 2 日立花子 |
| 3 日立工場 |
| 4 日立事務所 |
| 5 日立太郎 |
| ← (1 / 2) → |
- 相手先を選択→
決定を押す。
- ・子機を上げるか、 を押すと、カーソルで選択している電話帳の電話番号1に発信します。
 - ・ダイヤルボタンを押すと、対応する電話帳を開きます。
 - ・検索結果を読み仮名順に並べて表示します。

【電話帳 1 ページ目】

- ⑥
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |
- 決定を押す。
- ・電話番号(特番含む)を18桁まで表示します。全桁を確認する場合は手順を進めてください。
 - ・子機を上げるか、 を押すと、電話帳の電話番号1に発信します。
 - ・ダイヤル「1」～「3」を押すと、対応する電話番号1～3で発信します。(オンフック発信)
 - ・ や を押すと、検索条件を満たした他の電話帳に切り替わります。

【電話帳メニュー】

- ⑦
- | |
|----------|
| 1 発信番号選択 |
| 2 変更 |
| 3 消去 |
- 「1 発信番号選択」を選択→
決定を押す。
- ⑧
- | |
|----------------------|
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |
- 発信先を選択→
決定を押す。
- ・電話番号(特番含む)を最大37桁で表示します。
 - ・子機を上げるか、 を押すと、カーソルで選択している電話番号に発信します。

画面からの機能設定（つづき）

名前検索

【検索メニュー】

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 読み仮名検索 |
| 2 | 名前検索 |
| 3 | グループ検索 |
| 4 | 電話番号検索 |
| 5 | メモリ番号検索 |
- 「2 名前検索」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|------|--|
| 名前？ | |
| 日立太郎 | |
| 漢全 | |
- 名前を入力→
決定を押す。
文字入力(P.75)

・未入力で▼を押すと、全電話帳をシフトJISコード順に並べて表示します。

【検索結果】

- ⑤
- | | |
|---|-------|
| 1 | 日立営業所 |
| 2 | 日立花子 |
| 3 | 日立事務所 |
| 4 | 日立工場 |
| 5 | 日立太郎 |
- 相手先を選択→
決定を押す。

・検索結果をシフトJISコード順に並べて表示します。

【電話帳 1 ページ目】

- ⑥
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |

以下、読み仮名検索の⑦以降を実行する。

電話番号検索

【検索メニュー】

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 読み仮名検索 |
| 2 | 名前検索 |
| 3 | グループ検索 |
| 4 | 電話番号検索 |
| 5 | メモリ番号検索 |
- 「4 電話番号検索」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|-------|--|
| 電話番号？ | |
| 0398 | |
- 電話番号を入力→
決定を押す。

・未入力で▼を押すと、全電話帳を電話番号順に並べて表示します。

【検索結果】

- ⑤
- | | |
|---|-------|
| 1 | 日立太郎 |
| 2 | 日立花子 |
| 3 | 日立事務所 |
| 4 | 日立工場 |
| 5 | 日立営業所 |
- 相手先を選択→
決定を押す。

・検索結果を電話番号順に並べて表示します。

【電話帳 1 ページ目】

- ⑥
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |

以下、読み仮名検索の⑦以降を実行する。

グループ検索

【検索メニュー】

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 読み仮名検索 |
| 2 | 名前検索 |
| 3 | グループ検索 |
| 4 | 電話番号検索 |
| 5 | メモリ番号検索 |
- 「3 グループ検索」を選択→
決定を押す。

【グループ選択 1 ページ目】

- ④
- | | |
|---|----------|
| 1 | グループ 0 1 |
| 2 | グループ 0 2 |
| 3 | グループ 0 3 |
| 4 | グループ 0 4 |
| 5 | グループ 0 5 |
- 保存先のグループを選択→
決定を押す。

【検索結果】

- ⑤
- | | |
|---|-------|
| 1 | 日立太郎 |
| 2 | 日立花子 |
| 3 | 日立事務所 |
| 4 | 日立工場 |
| 5 | 日立営業所 |
- 相手先を選択→
決定を押す。

・検索結果にはグループ内の電話帳をメモリ番号順に並べて表示します。

【電話帳 1 ページ目】

- ⑥
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |

以下、読み仮名検索の⑦以降を実行する。

メモリ番号検索

【検索メニュー】

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 読み仮名検索 |
| 2 | 名前検索 |
| 3 | グループ検索 |
| 4 | 電話番号検索 |
| 5 | メモリ番号検索 |
- 「5 メモリ番号検索」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|--------|--|
| メモリ番号？ | |
| 001 | |
- メモリ番号を入力→
決定を押す。

・未入力で▼を押すと、全電話帳をメモリ番号順に並べて表示します。

【電話帳 1 ページ目】

- ⑤
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |

以下、読み仮名検索の⑦以降を実行する。

電話帳を編集する

電話帳編集

電話帳に登録されている内容を編集することができます。

- 電話帳検索(P.39)で「電話帳1ページ目」の画面を開いてください。

【電話帳1ページ目】

- ①
- | |
|---------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 100312345678 |
| 2003112233445566778 |
| 300398765432 |
- 決定を押す。

【電話帳メニュー】

- ②
- | |
|---------|
| 1発信番号選択 |
| 2変更 |
| 3消去 |
- 「2変更」を選択→
決定を押す。

【電話帳登録メニュー1ページ目】

- ③
- | |
|---------------|
| 1名前(必須) |
| 2読み仮名 |
| 3電話番号1の特番 |
| 4電話番号1(必須) |
| 5確認/登録 |
| ← (1 / 2) → |

・◀▶で画面が切り替わります。↑↓ 変更する項目を選択→

【電話帳登録メニュー2ページ目】 決定を押す。

- | |
|---------------|
| 1電話番号2/3へ |
| 2グループ番号 |
| 3着信音色 |
| 4着信ランプ色 |
| 5確認/登録 |
| ← (2 / 2) → |

【電話帳1ページ目】

- ④
- | |
|---------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 10312345678 |
| 2003112233445566778 |
| 300398765432 |
- 内容を確認→
決定を押す。

・これで内容が更新されました。

これらに関して編集できます

■名前

名前?
日立太郎

漢全

■読み仮名

読み仮名?
ヒタチタロウ

カナ半

■電話番号1~3の特番

電話番号1の特番?
0

■電話番号1~3

電話番号1?
0312345678

■グループ

1グループ01
2グループ02
3グループ03
4グループ04
5グループ05
← (1 / 4) →

■着信音色

1指定なし
2トーン01
3トーン02
4トーン03
5トーン04
← (1 / 3) →

■着信ランプ色

1指定なし
2赤色
3緑色
4青色
5黄色
← (1 / 3) →

画面からの機能設定（つづき）

履歴を使って電話をかける

履歴発信

一度かけた先の電話番号を発信履歴に、かけてきた相手の電話番号を着信履歴に記憶します。それぞれ最新の分から最大30件まで記憶しています。これらを選択して電話をかけることができます。

発信履歴

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「2 履歴」を選択→
決定を押す。
 - ②

1	発信履歴
2	着信履歴
3	消去

「1 発信履歴」を選択→
決定を押す。
- 【発信履歴】
- ③

発信履歴	N0.01
04月28日（火）	15:44
日立太郎	
00312345678	

▲/▼ で、かける先の履歴を選択→
決定を押す。
- 子機を上げるか、**オンフック** を押すと、表示している履歴先に発信します。
- ④

1	発信
2	電話帳登録
3	1件消去
4	全消去

「1 発信」を選択→
決定を押す。
- オンフック状態で発信されます。

着信履歴

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「2 履歴」を選択→
決定を押す。
 - ②

1	発信履歴
2	着信履歴
3	消去

「2 着信履歴」を選択→
決定を押す。
- 【着信履歴】
- ③

着信履歴	N0.01
04月28日（火）	15:44
日立太郎	
00312345678	
不在着信	

▲/▼ で、かける先の履歴を選択→
決定を押す。
- 子機を上げるか、**オンフック** を押すと、表示している履歴先に発信します。
 - 着信に 응답しなかった場合は、画面下段に「不在着信」と表示されます。ただし、ボタン着信など、着信形態によっては着信履歴に残らない場合もあります。
- ④

1	発信
2	電話帳登録
3	1件消去
4	全消去

「1 発信」を選択→
決定を押す。
- オンフック状態で発信されます。

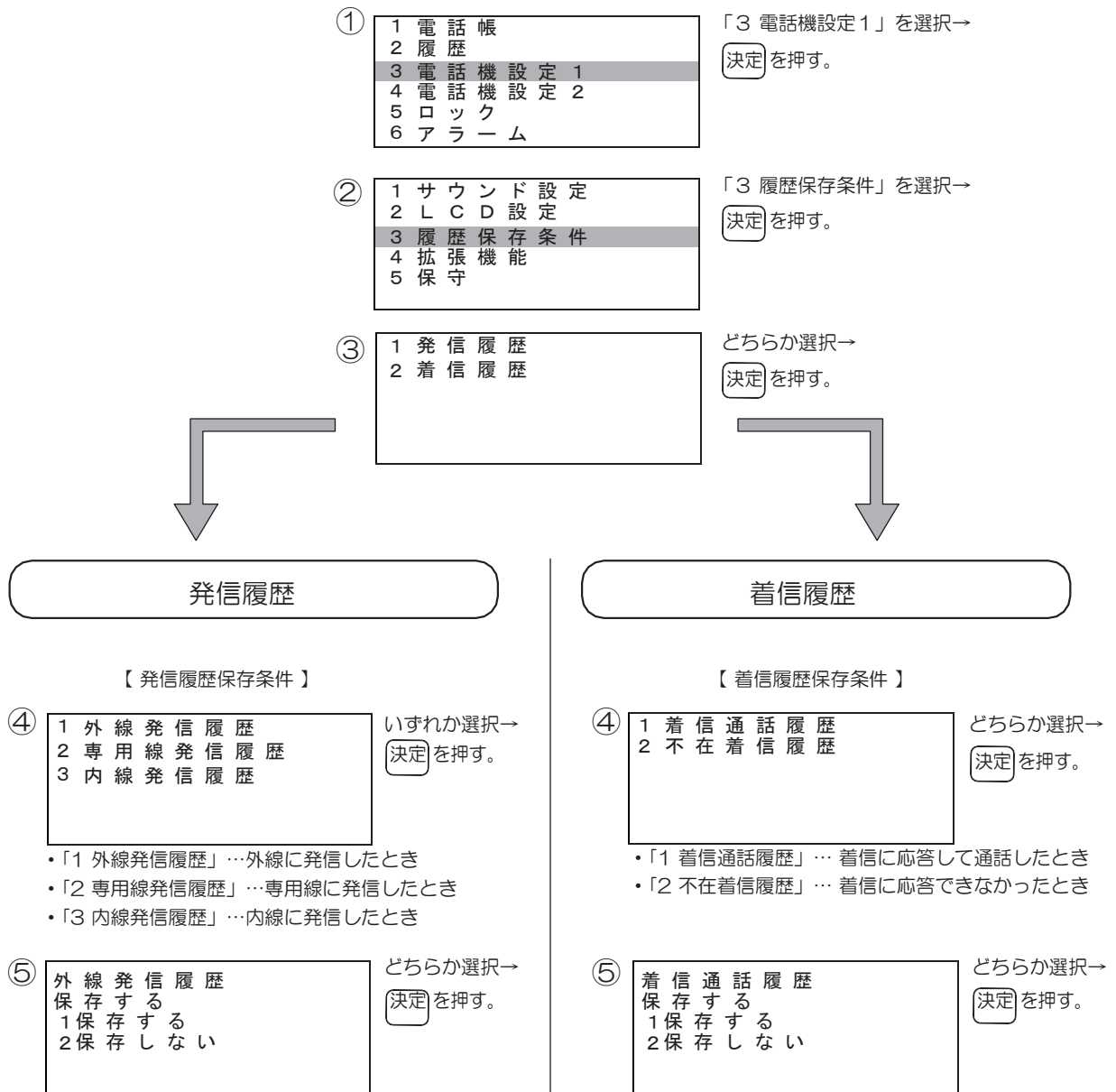
NOTE

1. 交換機から履歴情報を受信した場合、電話機側で履歴を保存します。対象は外線発信履歴、専用線発信履歴、内線発信履歴、着信通話履歴、不在着信履歴です。ただし、メニュー「3 電話機設定 1」→「3 履歴保存条件」にて、各発信履歴について「2 保存しない」を選択しているときは、交換機からの履歴情報を受信しても保存しません。また、「1 保存する」を設定していても回線条件によって発信者番号が取得できない場合や、交換機側の設定によって履歴情報が電話機に転送されない場合は保存されません。
2. 発信履歴（外線発信履歴、専用線発信履歴、内線発信履歴）の保存条件で、「1 保存する」を設定している項目は、交換機からの履歴情報によらず電話機側で保存します。なお、途中放棄なども履歴として保存されます。
3. [外線]ボタン操作で発信した際には、発信履歴に特番が残りません。このため、履歴から発信できない場合があります。
4. 外線からの着信履歴に特番が付加されるかどうかは、交換機の設定によります（販売店に確認してください）。特番が付加されていない場合、着信履歴から発信できない場合があります。

履歴を保存する

履歴保存

発信／着信履歴を保存するか否かを設定することができます。



履歴から電話帳に登録する

発着信履歴電話帳登録

発着信履歴に保存されている相手先番号を電話帳に登録することができます。
 なお、発着信履歴から既登録の電話帳データの変更はできません。

- 履歴発信(P.42)で発着信履歴画面を開いてください。

①

発 信 履 歴	N0. 01
04月 28日（火）	15:44
00312345678	

登録したい履歴を表示させて→
を押す。

②

1 発 信
2 電 話 帳 登 録
3 1 件 消 去
4 全 消 去

「2 電話帳登録」を選択→
を押す。

③

1 名 前（ 必 須 ）
2 読 み 仮 名
3 電 話 番 号 1 の 特 番
4 電 話 番 号 1（ 必 須 ）
5 確 認 / 登 録
← （ 1 / 2 ） →

「1 名前(必須)」を選択→
を押す。

・履歴の電話番号は「電話番号1」に登録されます。

④

名 前 ？
日 立 太 郎
漢 全

名前を入力→
を押す。

⑤

読 み 仮 名 ？
ヒ タ チ タ ロ ウ
カナ半

・名前入力に使用したカナが表示されます。

読み仮名を入力して を押す。

⑥

電 話 番 号 1 の 特 番 ？
0

＜以下の操作は電話帳登録(P.37)と同じです。＞

読み仮名を入力して を押す。

- ・必須条件が満たされているため電話帳に登録できます。
- ・設定していない項目は以下の内容で登録されます。
 グループ：グループ01
 着信音：指定なし
 着信ランプ色：指定なし

⑥

1 名 前（ 必 須 ）
2 読 み 仮 名
3 電 話 番 号 1 の 特 番
4 電 話 番 号 1（ 必 須 ）
5 確 認 / 登 録
← （ 1 / 2 ） →

「5 確認／登録」を選択→
を押す。

⑦

010
日 立 太 郎
ヒ タ チ タ ロ ウ
1 0 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
2
3

内容を確認→
を押す。

電話帳を消去する

電話帳消去

電話帳に登録されている内容を消去することができます。

選択した電話帳を消去

- 電話帳検索(P.39)から「電話帳 1 ページ目」を開いてください。

【電話帳 1 ページ目】

- ①
- | |
|----------------------|
| 001 |
| 日立太郎 |
| ヒタチタロウ |
| 1 00312345678 |
| 2 003112233445566778 |
| 3 00398765432 |
- 消去する電話帳を選択→
決定を押す。

【電話帳メニュー】

- ②
- | |
|----------|
| 1 発信番号選択 |
| 2 変更 |
| 3 消去 |
- 「3 消去」を選択→
決定を押す。

【消去確認】

- ③
- | |
|----------|
| 日立太郎 |
| を消去しますか？ |
| 1 いいえ |
| 2 はい |
- 「2 はい」を選択→
決定を押す。

・消去した電話帳は復元できません。

- ④
- | |
|-------|
| 消 去 中 |
|-------|

・消去到時間がかかる場合があります。
・消去されると、本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

メニューから電話帳を消去

- ①
- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |
- 「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

【電話帳メニュー】

- ②
- | |
|-----------|
| 1 検索 |
| 2 登録 |
| 3 グループ |
| 4 電話帳読み込み |
| 5 消去 |
- 「5 消去」を選択→
決定を押す。

【電話帳メニュー】

- ③
- | |
|-----------|
| 1 グループ毎消去 |
| 2 全消去 |
| 3 1 件消去 |
- 消去方法を選択→
決定を押す。

- ・「1 グループ毎消去」：選んだ電話帳を含んでいるグループ内の全電話帳を消去します。
- ・「2 全消去」：全電話帳を消去します。
- ・「3 1 件消去」：選んだ電話帳を1件消去します。

【消去確認】

- ④
- | |
|----------|
| 全電話帳 |
| を消去しますか？ |
| 1 いいえ |
| 2 はい |
- 「2 はい」を選択→
決定を押す。

・消去した履歴は復元できません。

- ⑤
- | |
|-------|
| 消 去 中 |
|-------|

・消去到時間がかかる場合があります。
・消去されると、本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

履歴を消去する

履歴消去

履歴を消去することができます。

選択した履歴を消去

- 履歴発信(P.42)から「発信履歴」／「着信履歴」を開いてください。

【 発信履歴 】

①

発 信 履 歴	N0.01
04月 28日（ 火 ）	15:44
日 立 太 郎	
00312345678	

▲/▼ で消去する履歴を選択→
決定 を押す。

【 履歴メニュー 】

②

1 発 信
2 電 話 帳 登 録
3 1 件 消 去
4 全 消 去

消去方法を選択→
決定 を押す。

- ・「3 1件消去」：選んだ履歴を1件消去します。
- ・「4 全消去」：全履歴を消去します。

【 消去確認 】

③

履 歴 を 消 去 し ま す か ？
1 い い え
2 は い

「2 はい」を選択→
決定 を押す。

- ・消去した履歴は復元できません。

④

消 去 中

- ・消去に時間がかかる場合があります。
- ・消去されると、本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

メニューから履歴を消去

①

1 電 話 帳
2 履 歴
3 電 話 機 設 定 1
4 電 話 機 設 定 2
5 ロ ッ ク
6 ア ラ ー ム

「1 電話帳」を選択→
決定 を押す。

【 履歴メニュー 】

②

1 発 信 履 歴
2 着 信 履 歴
3 消 去

「3 消去」を選択→
決定 を押す。

- ・全履歴を消去します。

【 消去確認 】

③

履 歴 を 消 去 し ま す か ？
1 い い え
2 は い

「2 はい」を選択→
決定 を押す。

- ・消去した履歴は復元できません。

④

消 去 中

- ・消去に時間がかかる場合があります。
- ・消去されると、本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

短縮ダイヤルを電話帳に登録する

短縮ダイヤル電話帳登録

システム短縮ダイヤルに登録されている相手先を、電話帳に登録することができます。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |
- 「1 電話帳」を選択→
決定を押す。
- ②
- | |
|-----------|
| 1 検索 |
| 2 登録 |
| 3 グループ |
| 4 電話帳読み込み |
| 5 消去 |
- 「4 電話帳読み込み」を選択→
決定を押す。
- ③
- | |
|----------|
| 1 短縮ダイヤル |
|----------|
- 「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。
- ④
- | |
|---------------|
| 1 グループ 0 1 |
| 2 グループ 0 2 |
| 3 グループ 0 3 |
| 4 グループ 0 4 |
| 5 グループ 0 5 |
| ← (1 / 4) → |
- 保存先のグループを選択→
決定を押す。
- ・グループ数は20です。
 - ・グループ名称を変更している場合、変更した名称が表示されます。
- ⑤
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 5 0 |
- 短縮番号を入力→
決定を押す。
- ・短縮番号は最大5桁です。
 - ・登録されている短縮番号は管理者に問い合わせてください。

【短縮ダイヤル情報表示】

- ⑥
- | | |
|-----------|----|
| 短縮番号： | 50 |
| グループ： | 01 |
| 発信特番： | 0 |
| 031111134 | |
| 日立花子 | |
| ヒタチハナコ | |
- 内容を確認→
決定を押す。
- ・読み仮名や電話番号を変更するときは、「電話帳」から開いて編集してください。☞ 電話帳編集(P.41)
 - ・名称が登録されていない短縮ダイヤルはメモリ番号が名前に仮登録されます。

画面からの機能設定（つづき）

グループ設定を変更する

グループ設定変更

電話帳に区分するグループ名およびグループごとの、着信音色や着信ランプ色を変更することができます。

- ①
- | | |
|---|---------|
| 1 | 電話帳 |
| 2 | 履歴 |
| 3 | 電話機設定 1 |
| 4 | 電話機設定 2 |
| 5 | ロック |
| 6 | アラーム |
- 「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 検索 |
| 2 | 登録 |
| 3 | グループ |
| 4 | 電話帳読み込み |
| 5 | 消去 |
- 「3 グループ」を選択→
決定を押す。

【グループ選択 1 ページ目】

- ③
- | | |
|---|----------|
| 1 | グループ 0 1 |
| 2 | グループ 0 2 |
| 3 | グループ 0 3 |
| 4 | グループ 0 4 |
| 5 | グループ 0 5 |
- 変更するグループを選択→
決定を押す。
- ← (1 / 4) →
- ・グループ数は20です。
 - ・グループ名称を変更している場合、変更した名称が表示されます。

- ④
- | | |
|---|--------|
| 1 | 名称変更 |
| 2 | 着信音色 |
| 3 | 着信ランプ色 |
- 変更する項目を選択→
決定を押す。

名称変更

名前？

グループ 0 1

漢 全

名前を入力→

決定を押す。

- ・全角9文字(半角18文字)までを推奨します。グループ選択の際は、全角10文字目が表示されないためです。ただし電話帳には表示されます。

着信音色

【着信音色選択 1 ページ目】

1	指定なし
2	トーン 0 1
3	トーン 0 2
4	トーン 0 3
5	トーン 0 4

← (1 / 3) →

着信音色を選択→

決定を押す。

- ・グループ内の電話帳に登録する外線番号について、個別に着信音色を選択することができます。
- ・「1 指定なし」にすると、着信音色は着信形態で鳴ります。
- ・着信音色および着信メロディを選択する場合は、販売店によりサウンド設定変更が必要です。

着信ランプ色

【着信ランプ色選択 1 ページ目】

1	指定なし
2	赤色
3	緑色
4	青色
5	黄色

← (1 / 2) →

着信ランプ色

を選択→

決定を押す。

- ・グループ内の電話帳に登録する外線番号について、個別に着信ランプ色を選択することができます。
- ・「1 指定なし」にすると着信ランプ色は着信形態で点滅します。

着信種別に着信音を設定する

着信種別毎音色設定

着信種別にお好みの着信音を選択することができます。



着信メロディも利用
することができます。
なお、販売店による設定
が必要です。

- ①
- | | |
|---|---------|
| 1 | 電話帳 |
| 2 | 履歴 |
| 3 | 電話機設定 1 |
| 4 | 電話機設定 2 |
| 5 | ロック |
| 6 | アラーム |

「3 電話機設定 1」
を選択→
決定を押す。

- ②
- | | |
|---|--------|
| 1 | サウンド設定 |
| 2 | LCD設定 |
| 3 | 履歴保存条件 |
| 4 | 拡張機能 |
| 5 | 保守 |

「1 サウンド設定」
を選択→
決定を押す。

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 着信音設定 |
| 2 | 音量設定 |
| 3 | ボタンタッチ音 |
| 4 | レベル設定 |

「1 着信音設定」
を選択→
決定を押す。

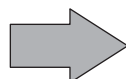
- ④
- | | |
|---|-----------|
| 1 | 着信種別毎音色 |
| 2 | ボタン着信毎音色 |
| 3 | 着信音鳴動条件設定 |

「1 着信種別音色」
を選択→
決定を押す。

- ⑤
- | | |
|---|-------|
| 1 | 一般着信 |
| 2 | ボタン着信 |
| 3 | 保留警報 |

どちらか選択→
決定を押す。

- ・「1 一般着信」：一般着信の着信音設定
- ・「2 ボタン着信」：ボタン着信の着信音設定
- ・「3 保留警報」：保留警報の着信音設定



一般着信

- ⑥
- | | |
|---|-------|
| 1 | 内線着信 |
| 2 | 外線着信 |
| 3 | 専用線着信 |
| 4 | 特殊着信 |
- ← (1 / 2) →

いずれか選択→
決定を押す。

- ・「1 内線着信」：内線からの着信時の着信音
- ・「2 外線着信」：外線からの着信の着信音
- ・「3 専用線着信」：専用線からの着信の着信音
- ・他項目の詳細は管理者にお問い合わせください。

ボタン着信

- ⑥
- | | |
|---|----------|
| 1 | ボタン着信音 1 |
| 2 | ボタン着信音 2 |
| 3 | ボタン着信音 3 |
| 4 | ボタン着信音 4 |
| 5 | 使用中着信音 |

いずれか選択→
決定を押す。

- ・「n ボタン着信音 n (n=1~4)」：ボタン着信音を4種類登録できます。
- ・「5 使用中着信音」：ボタン使用中に着信した時の着信音を登録します。

保留警報

- ⑥
- | | |
|---|------|
| 1 | 保留警報 |
|---|------|

「1 保留警報」
を選択→
決定を押す。

- ・「1 保留警報」：保留警報音を登録します。

- ⑦
- | | |
|------|---------|
| 本体制御 | |
| 1 | 本体制御 |
| 2 | トーン 0 1 |
| 3 | トーン 0 2 |
| 4 | トーン 0 3 |
- ← (1 / 4) →

いずれか選択→
決定を押す。

- ⑧
- | | |
|---------|--|
| 内線着信音 | |
| トーン 0 1 | |

内容を確認→
決定を押す。
(例) トーン01

画面からの機能設定（つづき）

ボタンごとに着信音を設定する

ボタン毎音色設定

フリーファンクションボタンごとにお好みの着信音を選択することができます。



販売店の設定で「鳴動あり」

となっているフリーファンクションボタンにお好みの着信音または、着信メロディを選択することができます。

- ①
- | | |
|---|---------|
| 1 | 電話帳 |
| 2 | 履歴 |
| 3 | 電話機設定 1 |
| 4 | 電話機設定 2 |
| 5 | ロック |
| 6 | アラーム |
- 「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。

- ②
- | | |
|---|--------|
| 1 | サウンド設定 |
| 2 | LCD設定 |
| 3 | 履歴保存条件 |
| 4 | 拡張機能 |
| 5 | 保守 |
- 「1 サウンド設定」を選択→
決定を押す。

- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 着信音設定 |
| 2 | 音量設定 |
| 3 | ボタンタッチ音 |
| 4 | レベル設定 |
- 「1 着信音設定」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|---|-----------|
| 1 | 着信種別毎音色 |
| 2 | ボタン毎音色 |
| 3 | 着信音鳴動条件設定 |
- 「2 ボタン毎音色」を選択→
決定を押す。

- ⑤ 着信音を設定するフリーファンクションボタンを押します。

フリーファンクションボタン
を押してください。

- ⑥
- | | |
|---------------|---------|
| 本件削除 | |
| 1 | 本件削除 |
| 2 | トーン 0 1 |
| 3 | トーン 0 2 |
| 4 | トーン 0 3 |
| ← (1 / 4) → | |
- いずれか選択→
決定を押す。

- ⑦
- | |
|---------|
| 内線着信音 |
| トーン 0 1 |
- 内容を確認→
決定を押す。
(例) トーン 01

着信音を鳴らさない

着信音の停止

着信音が鳴らないように設定することができます。

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」
 を選択→
を押す。
- ②

1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能
5	保守

 「1 サウンド設定」
 を選択→
を押す。
- ③

1	着信音設定
2	音量設定
3	ボタンタッチ音
4	レベル設定

 「2 音量設定」
 を選択→
を押す。
- ④

1	着信音量初期値
2	通話音量初期値
3	スピーカ音量初期値
4	最小着信音

 「4 最小着信音」
 を選択→
を押す。
- ⑤

最小着信音	
最小	
1 最小	
2 消音	

 「2 消音」
 を選択→
を押す。

- ・「1 最小」… 着信音量が最小でも着信音が鳴ります。
- ・「2 消音」… 着信音量で着信音が鳴らない設定が選べます。

着信音量について

- ・待機状態で または を押すと着信音量の表示が変化します。

内線番号	200
04月 27日 (水)	15:00
着信音量	■□□□□□

■□□□□□	最小
■■□□□□	
■■■□□□	
■■■■□□	
■■■■■□	
■■■■■■□	
■■■■■■■	最大

- ・操作⑤で、「最小着信音」を「消音」に設定すると下記の「消音」設定が選べます。

内線番号	200
04月 27日 (水)	15:00
着信音量	□□□□□□

ボタン操作音を出さない

ボタン操作音の停止

ボタンを押したときのボタンタッチ音が鳴らないように設定することができます。

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」
 を選択→
を押す。
- ②

1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能
5	保守

 「1 サウンド設定」
 を選択→
を押す。
- ③

1	着信音設定
2	音量設定
3	ボタンタッチ音
4	レベル設定

 「3 ボタンタッチ音」
 を選択→
を押す。
- ④

ボタンタッチ音	
有効	
1 無効	
2 有効	

 「1 無効」
 を選択→
を押す。

- ・「1 無効」…音を鳴らさない。
- ・「2 有効」…音を鳴らす。

画面からの機能設定（つづき）

音量の初期値を設定する

音量の初期化

電話機を再起動すると、音量設定が工場出荷状態の初期値に戻ります。この再起動後の初期値を、お好みの音量に設定することができます。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |
- 「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。

- ②
- | |
|----------|
| 1 サウンド設定 |
| 2 LCD設定 |
| 3 履歴保存条件 |
| 4 拡張機能 |
| 5 保守 |
- 「1 サウンド設定」を選択→
決定を押す。

- ③
- | |
|-----------|
| 1 着信音設定 |
| 2 音量設定 |
| 3 ボタンタッチ音 |
| 4 レベル設定 |
- 「2 音量設定」を選択→
決定を押す。

- ④
- | |
|-------------|
| 1 着信音量初期値 |
| 2 通話音量初期値 |
| 3 スピーカ音量初期値 |
| 4 最小着信音 |
- 1～3のいずれかを選択→
決定を押す。

- ・「1 着信音量」：着信時の音量
- ・「2 通話音量」：（未サポート）
- ・「3 スピーカ音量」：スピーカ受話時の音量

- ⑤ 各音量を任意に設定してください。

- | |
|---------|
| 着信音量初期値 |
| 1 小さく |
| 2 大きく |
| 3 初期値 |
- 決定を押す。

- ・工場出荷時設定：3段階（6段階）
- ・工場出荷時設定に戻る場合は、③を押してください。

- | |
|-----------|
| スピーカ音量初期値 |
| 1 小さく |
| 2 大きく |
| 3 初期値 |
- 決定を押す。

- ・工場出荷時設定：3段階（6段階）
- ・工場出荷時設定に戻る場合は、③を押してください。

画面コントラストを調節する

画面コントラスト調節

画面の文字の濃淡を調節することができます。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |
- 「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。

- ②
- | |
|----------|
| 1 サウンド設定 |
| 2 LCD設定 |
| 3 履歴保存条件 |
| 4 拡張機能 |
| 5 保守 |
- 「2 LCD設定」を選択→
決定を押す。

- ③
- | |
|----------------|
| 1 コントラスト |
| 2 バックライト 明度 |
| 3 バックライト 点灯時間 |
| 4 バックライト 着信時有無 |
| 5 バックライト 操作時有無 |
- 「1 コントラスト」を選択→
決定を押す。

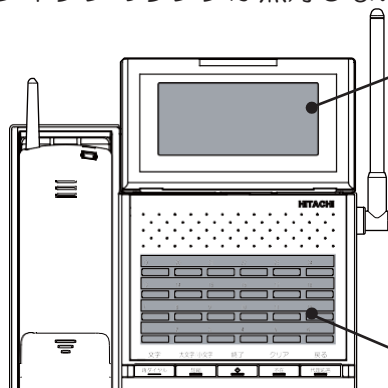
- ④
- | |
|--------|
| コントラスト |
| 1 淡く |
| 2 濃く |
| 3 初期値 |
- 決定を押す。

- ・工場出荷時設定：10段階（20段階）
- ・決定で淡く、決定で濃くなります。
- ・工場出荷時設定に戻る場合は、③を押してください。

省電力モードにする

省電力設定

待機状態で一定時間経過すると、画面のバックライトが消えるようにしたり、フリーファンクションボタンのランプが点灯しないようにすることができます。



バックライト制御

●「バックライト明度」

電話機を操作しているときのLCDの明るさを2段階から選択できます。約10秒間、電話機を操作しないとバックライトの明度が落ちます。

●「バックライト点灯時間」

設定した点灯時間を経過すると、バックライトが消灯します。

省電力モード制御

●「省電力モード設定」 / 「省電力移行時間」

一定時間、電話機を操作しないと[フリーファンクション]ボタンのランプが消えます。

バックライト制御の設定

- ①

1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

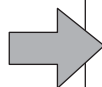
「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。
- ②

1 サウンド設定
2 LCD設定
3 履歴保存条件
4 拡張機能
5 保守

「2 LCD設定」を選択→
決定を押す。
- ③

1 コントラスト
2 バックライト 明度
3 バックライト 点灯時間
4 バックライト 着信時 有無
5 バックライト 操作時 有無

2～5のいずれかを選択→
決定を押す。



■バックライト明度

バックライト 明度
省電力
1 標準
2 省電力

どちらか選択→
決定を押す。

■バックライト点灯時間

バックライト 点灯時間
1 分
1 1分
2 3分
3 10分
4 消灯なし

いずれか選択→
決定を押す。

■バックライト着信時 有無

バックライト 着信時 有無
点灯
1 点灯
2 消灯

どちらか選択→
決定を押す。

■バックライト操作時 有無

バックライト 操作時 有無
点灯
1 点灯
2 消灯

どちらか選択→
決定を押す。

画面からの機能設定（つづき）

省電力モード制御の設定

- ①

1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

 「3 電話機設定 1」を選択→
を押す。
- ②

1 サウンド設定
2 LCD設定
3 履歴保存条件
4 拡張機能
5 保守

 「4 拡張機能」を選択→
を押す。
- ③

1 ヘッドセット付加
2 省電力設定
3 子機呼び

 「2 省電力設定」を選択→
を押す。
- ④

1 省電力モード設定
2 省電力移行時間

 1 または 2 を選択→
を押す。

■省電力モード設定

省電力モード設定
無効
1 無効
2 有効

どちらか選択→
を押す。

■省電力移行時間

省電力移行時間
3 0 分
1 1 分
2 3 分
3 1 0 分
4 3 0 分

いずれか選択→
を押す。

NOTE

1. 省電力モードは、多機能電話機の使用していない[フリーファンクション]ボタンのランプ表示を停止することにより、消費電力を低減する機能です。[フリーファンクション]ボタンのランプ表示が必要である場合は、電力モードを「1 無効」にしてください。
 （ただし、交換機側で[フリーファンクション]ボタンの着信音を有効に設定している場合はこの限りではありません。例えば、着信音が鳴る外線やキー着信を受けると、多機能電話機は自動で通常状態に復帰します）
2. 省電力モードに設定してあって、さらにトーン鳴動条件の設定(交換機側の設定)で、「鳴動なし」に設定してあると、キー着信があっても省電力状態となります。
3. バックライト制御、省電力モード制御を有効設定にしている場合、下記の場合は設定が解除されます。（点灯状態を確認するときも下記の操作をしてください）
 - 子機を上げ下げしたとき。
 - いずれかのボタンを押したとき。
 - 着信音が鳴ったとき。
 なお、画面のバックライトは再点灯条件をLCD設定で変更できます。
4. 省電力モードから直接[フリーファンクション]ボタンに登録されている外線に応答する場合は、子機を上げるか、盤面ボタンを押してから応答操作をしてください。

子機を呼び出す

子機呼び

子機をどこかに置き忘れた場合は、親機から子機を呼び出せます。

- ①

1 電 話 帳
2 履 歴
3 電 話 機 設 定 1
4 電 話 機 設 定 2
5 ロ ッ ク
6 ア ラ ー ム

 「3 電話機設定1」を選択→
 [決定] を押す。
- ②

1 サ ウ ン ド 設 定
2 L C D 設 定
3 履 歴 保 存 条 件
4 拡 張 機 能
5 保 守

 「4 拡張機能」を選択→
 [決定] を押す。
- ③

1 ヘッドセット付加
2 省電力設定
3 子機呼び

 「3 子機呼び」を選択→
 [決定] を押す。
- ④

子機を呼出しますか？
1 いいえ
2 はい

 「2 はい」を選択→
 [決定] を押す。
- ⑤

子 機 呼 び 中

• 子機を呼び出します。

NOTE

1. 子機を呼び出せるのは、子機が待機状態のときだけです。なお、親機と子機間での通話はできません。
2. 子機を呼び出す音量は、子機の着信音の設定(鳴動なし、着信音小)にかかわらず最大音量になります。
3. 子機を呼び出している時間は約60 秒間です。これを過ぎると停止します。
4. 子機の呼び出し音の停止は、子機側から可能です。
5. 子機の電池が放電しきっていると、呼び出し音は鳴りません。

電話機を初期化する

電話機初期化

電話機の設定条件を初期化することができます。



- 本操作で、36ページの設定項目のうち、項目11～17の内容が初期化されます。初期化するとそれ以前の状態に戻すことはできません。
- 電話帳、履歴、電話機設定 2、ロック、アラームで設定した内容は初期化されません。
- 初期化中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

- ①

1 電 話 帳
2 履 歴
3 電 話 機 設 定 1
4 電 話 機 設 定 2
5 ロ ッ ク
6 ア ラ ー ム

 「3 電話機設定1」を選択→
 [決定] を押す。
- ②

1 サ ウ ン ド 設 定
2 L C D 設 定
3 履 歴 保 存 条 件
4 拡 張 機 能
5 保 守

 「5 保守」を選択→
 [決定] を押す。
- ③

1 バージョン情報
2 パスワード登録
3 初 期 化

 「3 初期化」を選択→
 [決定] を押す。
- ④

初期化しますか？
1 いいえ
2 はい

 「2 はい」を選択→
 [決定] を押す。
- ⑤

初 期 化 中

 待機表示になるまでお待ちください。

• 初期化に時間がかかる場合があります。

※⑤の画面は、④で「2 はい」を選択した場合に表示されます。
 ④で「1 いいえ」を選択した場合は、③の画面に戻ります。

電話機をロックする

電話機ロック

自分の電話機の設定内容を、他の人から操作できないように、電話機をロックすることができます。

●始めにパスワードを登録してください。

- ①

1 電話帳

2 履歴

3 電話機設定 1

4 電話機設定 2

5 ロック

6 アラーム

「3 電話機設定 1」
を選択→
決定を押す。
- ②

1 サウンド設定

2 LCD設定

3 履歴保存条件

4 拡張機能

5 保守

「5 保守」
を選択→
決定を押す。
- ③

1 バージョン情報

2 パスワード登録

3 初期化

「2 パスワード登録」
を選択→
決定を押す。
- ④

パスワード？

現在のパスワード
を入力→
決定を押す。

- ・パスワードの初期値は「0000」です。
- ・ロックする場合は本パスワードを必ず変更してください。（4～8桁）
- ・パスワードは忘れないよう記録しておいてください。
万々忘れた場合には管理者にお問い合わせください。

- ⑤

新パスワード入力？

新しいパスワード
を入力→
決定を押す。
- ⑥

新パスワード再入力？

新しいパスワードを
確認のため再度入力→
決定を押す。

ロックする / ロックを解除する

電話機のロックは2種類あります。

- 「メニューロックする」：待機画面から、「電話機メニュー」、「電話帳検索」、「発信履歴」を開く際にパスワード入力が必要になります。
- 「発信ロックする」：一部の操作を除き、すべての待機画面からの操作にパスワード入力が必要になります。

（パスワードは親機で入力してください）



パスワード入力が不要な操作は下記となります。

- ・子機を上げる、またはオンフックボタンを押して電話を受ける操作
（外線応答などフリーファンクションボタンを押す操作にはパスワードが必要です）
- ・着信音量の調整（十字キーの上下操作）
- ・アラーム鳴動時のアラーム停止操作
（ * 〰 を押す操作）

- ①

1 電話帳

2 履歴

3 電話機設定 1

4 電話機設定 2

5 ロック

6 アラーム

「5 ロック」
を選択→
決定を押す。
- ②

ロック解除中です

1 解除する

2 メニューロックする

3 発信ロックする

いずれかを選択→
決定を押す。

- ・「1 解除する」：電話機のロックを解除します。
- ・「2 メニューロックする」：メニューロックを設定します。
- ・「3 発信ロックする」：発信操作をロックします。

アラームをセットする

アラーム設定

予定の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎週決まった曜日と時刻にセットすることもできます。さらに、アラームが鳴ったときに簡単なメッセージを表示させることもできます。

- ①
- | | |
|---|---------|
| 1 | 電話帳 |
| 2 | 履歴 |
| 3 | 電話機設定 1 |
| 4 | 電話機設定 2 |
| 5 | ロック |
| 6 | アラーム |
- 「6 アラーム」を選択→
決定を押す。

- ②
- | | |
|---|--------------|
| 1 | アラーム 1 (未登録) |
| 2 | アラーム 2 (未登録) |
| 3 | アラーム 3 (未登録) |
- いずれか選択→
決定を押す。
- ・アラームは3つまで登録できます。

- 日時を指定しておくと、その時刻にアラームが鳴ります。

日時指定



- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 時刻指定 |
| 2 | 警報メッセージ |
| 3 | 警報色 |
| 4 | 解除 |
| 5 | 登録 |
- 「1 時刻指定」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|---|------|
| 1 | 日時指定 |
| 2 | 曜日指定 |
- 「1 日時指定」を選択→
決定を押す。

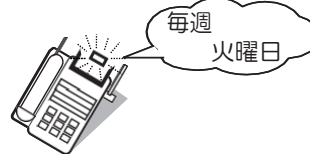
- ⑤
- | | |
|-----------------|--|
| 日時指定 | |
| 0 3月 20日 19時00分 | |
- アラーム時間を入力→
決定を押す。

・表示時刻は現在の時刻です。

- ⑥
- | | |
|---|---------|
| 1 | 時刻指定 |
| 2 | 警報メッセージ |
| 3 | 警報色 |
| 4 | 解除 |
| 5 | 登録 |
- 「5 登録」を選択→
決定を押す。

- 曜日を指定すると、その日、その時刻に毎週アラームが鳴ります。

曜日指定



- ③
- | | |
|---|---------|
| 1 | 時刻指定 |
| 2 | 警報メッセージ |
| 3 | 警報色 |
| 4 | 解除 |
| 5 | 登録 |
- 「1 時刻指定」を選択→
決定を押す。

- ④
- | | |
|---|------|
| 1 | 日時指定 |
| 2 | 曜日指定 |
- 「2 曜日指定」を選択→
決定を押す。

- ⑤
- | | |
|--------|---------------------------------|
| 曜日指定 | |
| 19時00分 | 日月火水木金土
0000000
0=無効 1=有効 |
- アラーム時間を入力→
決定を押す。

・表示時刻は現在の時刻です。

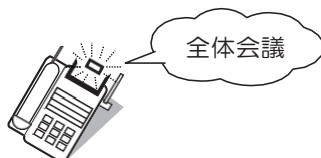
・曜日指定は、曜日にカーソルを移動して「1」を押します。解除は「0」を押します。

- ⑥
- | | |
|---|---------|
| 1 | 時刻指定 |
| 2 | 警報メッセージ |
| 3 | 警報色 |
| 4 | 解除 |
| 5 | 登録 |
- 「5 登録」を選択→
決定を押す。

画面からの機能設定（つづき）

- あらかじめ簡単なメッセージを登録しておく、アラームが鳴ったときにそれを表示します。

警報メッセージ



- ③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

 「2 警報メッセージ」を選択→
を押す。
- ④

警報メッセージ	
漢全	

 メッセージを入力→
を押す。
 文字入力(P.75)
- ⑤

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

 「5 登録」を選択→
を押す。

- アラームが鳴ると着信ランプが点滅します。このときのランプの色を指定できます。

警報色



- ③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

 「3 警報色」を選択→
を押す。
- ④

赤色	
1	赤色
2	緑色
3	青色
4	黄色
← (1 / 2) →	

 いずれか選択→
を押す。
- ⑤

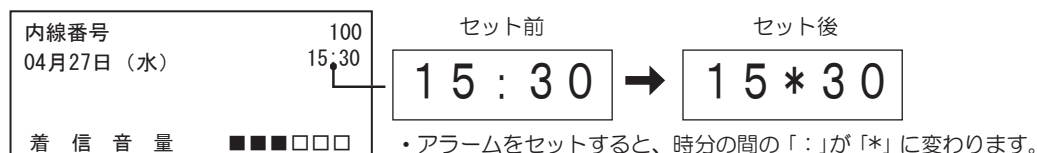
1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

 「5 登録」を選択→
を押す。

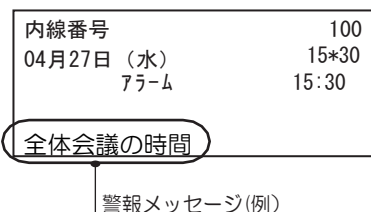
アラーム登録後、待機状態に戻ってください。

NOTE

1. アラームをセットすると表示が変わります。



2. アラーム鳴動を止めるときは を押してください。日時設定の場合はアラームが解除され、セット前の表示になります（曜日指定の場合は解除されません）。
3. 警報メッセージを登録してあると、アラームが鳴り、最下段にその旨を表示します。



電話機のソフトウェアバージョンを確認する

電話機情報取得

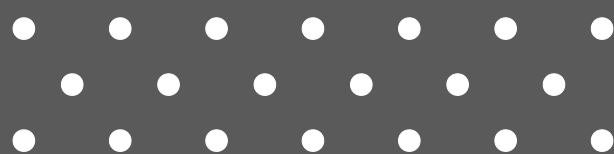
電話機のソフトウェアバージョンを確認できます。

- ①
- | | |
|---|-------------|
| 1 | 電 話 帳 |
| 2 | 履 歴 |
| 3 | 電 話 機 設 定 1 |
| 4 | 電 話 機 設 定 2 |
| 5 | ロ ッ ク |
| 6 | ア ラ ー ム |
- 「3 電話機設定1」
を選択→
を押す。
- ②
- | | |
|---|-------------|
| 1 | サ ウ ン ド 設 定 |
| 2 | L C D 設 定 |
| 3 | 履 歴 保 存 条 件 |
| 4 | 拡 張 機 能 |
| 5 | 保 守 |
- 「5 保守」
を選択→
を押す。
- ③
- | | |
|---|---------------|
| 1 | バ ー ジ ョ ン 情 報 |
| 2 | パ ス ワ ー ド 登 録 |
| 3 | 初 期 化 |
- 「1 バージョン情報」
を選択→
を押す。
- ④
- | | |
|-----------------|-----|
| HI-24G-TELHC | chA |
| VER 00-00-00-00 | |
- 電話機情報が表示される。

④の画面で決定キーを押すと、③の画面に戻ります。

MEMO

第5章

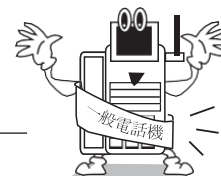


各種登録

本章は、各種の登録操作についての説明です。

- 本章の内容の操作は、全て子機を置いたままで操作します。
- 本章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第6章付録「こんなメッセージが出たら」（P.84）をご覧ください。

各種登録



電話機から下記の項目について登録や確認をすることができます。

登録項目について

項 目		内 容
1	個人短縮ダイヤルの登録 ※ (P.63)	各内線が使用できる個人可変短縮ダイヤルの登録です。
2	個人短縮ダイヤルの編集 ※ (P.64)	登録した個人短縮ダイヤルの編集です。
3	グループ短縮ダイヤルの登録 ※ (P.65)	グループ内の内線が使用できるグループ可変短縮ダイヤルの登録です。
4	グループ短縮ダイヤルの編集 ※ (P.66)	登録したグループ可変短縮ダイヤルの編集です。
5	システム短縮ダイヤルの確認 (P.67)	全内線が使用できるシステム短縮ダイヤルの内容確認です。
6	支店番号システム短縮ダイヤル（店番短縮ダイヤル）の確認 (P.67)	短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤルの発信をする機能を設定している場合の内容確認です。
7	フリーファンクションボタンの登録 (P.68)	フリーファンクションボタンの登録です。
8	オートダイヤルボタンの登録 ※ (P.68)	外線や内線の相手番号をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
9	外線ワンタッチボタンの登録 ※ (P.68)	短縮番号の内容をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
10	内線ワンタッチボタンの登録 ※ (P.68)	内線への発信や着信の代理応答をワンタッチで行えるボタンの登録です。
11	自己保留ボタンの登録 ※ (P.68)	通話保留時にその電話機からしか戻れないようにするボタンの登録です。
12	転送完了ボタンの登録 ※ (P.68)	通話中の相手を他の内線に転送する際に子機を戻す代わりに使用するボタンの登録です。
13	DISC（disconnect）ボタンの登録 ※ (P.68)	ダイヤルを間違ったときや通話を止めてダイヤルし直すときに使用できるボタンの登録です。
14	キャンセルボタンの登録 ※ (P.68)	通話中の相手を他の内線に転送する際に転送をやめて待たせている相手に戻るときに使用できるボタンの登録です。
15	セーブダイヤルボタンの登録 ※ (P.68)	最後に発信した番号を記憶し再び発信できるボタンの登録です。
16	メッセージウェイトボタンの登録 ※ (P.68)	相手が席に戻ったら相手から電話をもらう（留守中着信表示）ときのセットに使用できるボタンの登録です。
17	他グループピックアップボタンの登録 ※ (P.68)	他のグループへの着信を代理応答できるボタンの登録です。
18	登録ボタン内容の確認 ※ (P.68)	登録してあるボタン内容の確認です。
19	内線名称の登録 ※ (P.71)	各内線の内線名称の登録です。
20	My ナンバー登録・席移動 (P.72)	① My ナンバー登録：My ナンバー（各自の内線番号）を電話機に登録します。 ② 席移動開始：My ナンバーを登録した電話機を移動先に接続したあとに席移動を行います。 ③ My ナンバー表示：電話機に登録したMy ナンバーの確認です。 ④ グループデータコピー：席移動先のグループデータをコピーします。

※登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

操作画面について

上記の項目を操作するときは、次の操作で登録モード画面を開いてから操作します。

【待機画面】

① 内線番号 3000 待機画面で
05月16日(月) 15:00 決定を押す。
着信音量 ■■■□□□

【トップメニュー】

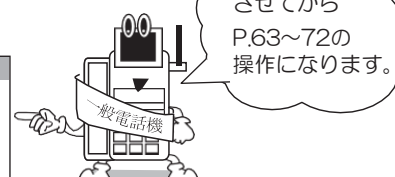
② 1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

③ 1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

「4 電話機設定2」を選択→
決定を押す。

登録モード

④ 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 My ナンバー



個人短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する“システム短縮ダイヤル”と各内線が独自に使用できる“個人可変短縮ダイヤル”、そして、グループ内の内線で共通に使用できる“グループ可変短縮ダイヤル”があります。

短縮番号について

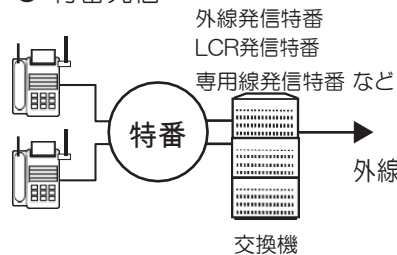
システム短縮／可変短縮ダイヤル (P.17) を参照して、短縮番号がどのように設定されているか、販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

ご使用のシステムが、下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

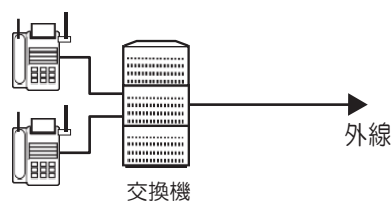
かけるときに特番が必要

● 特番発信〔例〕



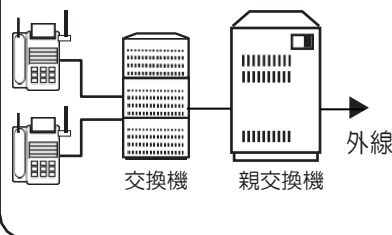
外線に直接かけられる

● 外線発信



親交換機を介してかける

● 親PBX発信



- ① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から

「1 短縮ダイヤル」
を選択→
決定を押す。

- ② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」
を選択→
決定を押す。

- ③ 短縮番号？
80■

短縮番号を入力→
決定を押す。

- ④ 個人可変短縮
短縮番号：80
未登録

決定を押す。

- ⑤ 1 登録
2 編集
3 消去

「1 登録」
を選択→
決定を押す。

- ⑥ 発信種別？
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用

いずれか選択→
決定を押す。

(例)「1 特番発信」を選択

- ⑦ 相手番号？

00312345678■

相手番号を入力→
決定を押す。

(例) 発信特番 0
相手番号 0312345678

・ポーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。

- ⑧ 個人可変短縮
短縮番号：80
特番発信
00312345678

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 決定を押す。

→ 操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→ 決定を押す。

→ 操作②に戻るので を押す。
待機画面に戻ります。

内容修正なら→ 戻る
代理応答を押す。

→ 戻る
代理応答を押すごとに1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を
表示させて修正する。

各種登録（つづき）

個人短縮ダイヤルを編集する

①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から
「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。

②

1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→
決定を押す。

③

短縮番号？
80■

短縮番号を入力→
決定を押す。

④

個人可変短縮
短縮番号：80
特番発信
00312345678

決定を押す。

⑤

1 登録
2 編集
3 消去

「2 編集」を選択→
決定を押す。

⑥

個人可変短縮
短縮番号：80
1 特番発信
2 00312345678

「1 特番発信」を選択→
決定を押す。

・相手番号を編集するときは、電話番号を選択して
決定を押して操作⑨に進む。

⑦

発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用

目的の種別を選択→
決定を押す。

(例) 「2 外線発信」

⑧

個人可変短縮
短縮番号：80
1 外線発信
2 00312345678

「2 00312345678」を選択→
決定を押す。

⑨

相手番号？
00312345678
0311223344■

相手番号を修正→
決定を押す。

(例) 0311223344

・ポーズを入力する場合は「P」を押してください。
表示は「P」になります。

「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には
発信特番を指定しないでください。

⑩

個人可変短縮
短縮番号：80
外線発信
0311223344

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→決定を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→決定を押す。→操作②に戻るので終了を押す。
待機画面に戻ります。

内容修正なら→戻るを押す。→戻るを押すごとに1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を
表示させて修正する。

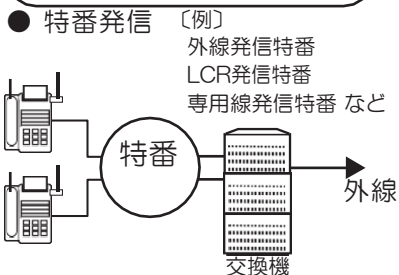
グループ短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する“システム短縮ダイヤル”と各内線が独自に使用できる“個人可変短縮ダイヤル”、そして、グループ内の内線で共通に使用できる“グループ可変短縮ダイヤル”があります。

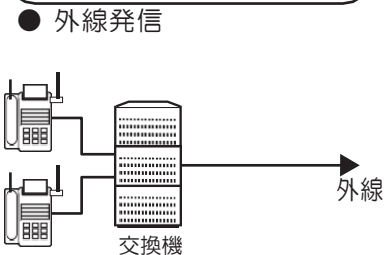
発信種別を確認してください

ご使用のシステムが、下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

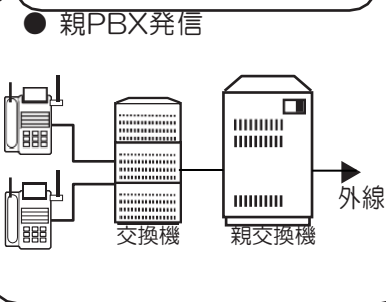
かけるときに特番が必要



外線に直接かけられる



親交換機を介してかける



- ① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から

「1 短縮ダイヤル」を選択→決定を押す。

- ② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→決定を押す。

操作する電話機について

電話機によってグループ短縮ダイヤルの登録・編集ができるものと、できないものがあります。販売店に確認してください。

短縮番号について

システム短縮/可変短縮ダイヤル(P.17)を参照して、短縮番号がどのように設定されているか、販売店に確認してください。

- ③ 短縮番号？
00■
短縮番号を入力→決定を押す。
- ④ グループ可変短縮
短縮番号：00
未登録
決定を押す。
- ⑤ 1 登録
2 編集
3 消去
「1 登録」を選択→決定を押す。
- ⑥ 発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用
いずれか選択→決定を押す。
(例)「1 特番発信」を選択
- ⑦ 相手番号？
00312345678■
相手番号を入力→決定を押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0312345678
・ポーズを入力する場合は▶を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑧ グループ可変短縮
短縮番号：00
特番発信
00312345678
内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→決定を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→決定を押す。→操作②に戻るの→終了を押す。
待機画面に戻ります。

内容修正なら→戻る
代理応答を押す。→戻る
代理応答を押すごとに1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを編集する

①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から
「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。

②

1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→
決定を押す。

③

短縮番号？
00■

短縮番号を入力→
決定を押す。

④

グループ可変短縮
短縮番号：00
特番発信
00312345678

決定を押す。

⑤

1 登録
2 編集
3 消去

「2 編集」を選択→
決定を押す。

⑥

グループ可変短縮
短縮番号：00
1 特番発信
2 00312345678

「1 特番発信」を選択→
決定を押す。

・相手番号を編集するときは電話番号を選択して決定を押して操作⑨に進む。

⑦

発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用

目的の種別を選択→
決定を押す。

(例) 「2 外線発信」

⑧

グループ可変短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00312345678

「2 00312345678」を選択→
決定を押す。

⑨

相手番号？
00312345678
0311223344 ■

相手番号を修正→
決定を押す。

(例) 0311223344

・ポーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。

「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には
発信特番を指定しないでください。

⑩

グループ可変短縮
短縮番号：00
外線発信
0311223344

内容を確認する。

内容OKで
続けて編集なら→ 決定を押す。 → 操作②に戻るので続けて編集する。

内容OKで
編集終了なら→ 決定を押す。 → 操作②に戻るので を押す。
待機画面に戻ります。

内容修正なら→ を押す。 → を押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を
表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを確認する

- ①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から

「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。
- ②

1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→
決定を押す。
- ③

短縮番号？
00■

短縮番号を入力→
決定を押す。
- ④

システム短縮
短縮番号：00
特番発信
00311223344
田中
タカ

内容を確認する。

続けて確認なら→戻る
代理応答を押す。➡ 操作③に戻るので続けて確認する。

確認終了なら→終了
決定を押す。➡ 待機画面に変わります。

支店番号システム短縮ダイヤルを確認する

- ①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から

「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。
- ②

1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「2 特番発信」を選択→
決定を押す。
- ③

特番＋短縮番号？
7123456■

短縮発信特番＋支店番号を入力→
決定を押す。

(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④

店番短縮
短縮コード：7123456
00311223344

内容を確認する。

続けて確認なら→戻る
代理応答を押す。➡ 操作③に戻るので続けて確認する。

確認終了なら→終了
決定を押す。➡ 待機画面に変わります。

各種登録（つづき）

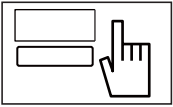
ファンクションボタンに機能ボタンを登録する

電話機またはHI-48DSSG装置のフリーファンクションボタンに、下記の機能ボタンを登録することができます。

- オートダイヤル ● 外線ワンタッチ ● 内線ワンタッチ ● 自己保留 ● 転送完了 ● DISC
- キャンセル ● セーブダイヤル ● メッセージウェイト ● 他グループピックアップ

- 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.62) から
「2 ボタン」
を選択→
決定を押す。
- 登録 / 消去するボタン
を押して下さい
- ③ 電話機またはDSS装置の空いているフ
リーファンクションボタンを押す。
(例) ボタン1


- ④ ボタン番号 : 01
未登録

決定を押す。
ここでボタンの登録
内容が確認できます。
- ⑤ 1 登録 / 編集
2 消去

「1 登録 / 編集」
を選択→
決定を押す。
- ⑥ ボタン種別 ?
1 オートダイヤル
2 外線ワンタッチ
3 内線ワンタッチ
4 自己保留 >

目的のボタン名を選択→
決定を押す。

ボタン種別 ?

1 転送完了
2 DISC
3 キャンセル
4 セーブダイヤル <>

ボタン種別 ?

1 メッセージウェイト
2 他グループピックアップ <

▶で次画面を、
▶で前画面を
表示します。

- 目的のボタンを選択した後の表示
内容はP.69を参照してください。

オートダイヤル

外線ワンタッチ

内線ワンタッチ

自己保留

転送完了

DISC

キャンセル

セーブダイヤル

メッセージウェイト

他グループピックアップ

NOTE

その他の機能ボタンについて
上記の機能ボタン以外にも種類があり
ます(P.70)が、これらについては販売
店が設定します。各電話機からは確認
だけです。

オートダイヤル

- ① 相手番号？
123456■
- 相手番号を入力→
決定を押す。
(例) 123456
- ポーズを入力する場合は  を押してください。
表示は「P」になります。
- ② ボタン番号：01
オートダイヤル
123456
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。
- 入力し直すときは  を押す。

外線ワンタッチ

- ① 短縮番号？
*01■
- 短縮番号を入力→
決定を押す。
(例) *01
- ② ボタン番号：01
外線ワンタッチ
*01
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。
- 入力し直すときは  を押す。

内線ワンタッチ

- ① 内線番号？
2001■
- 内線番号を入力→
決定を押す。
(例) 2001
- ② ボタン番号：01
内線ワンタッチ
2001
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。
- 入力し直すときは  を押す。

自己保留

- ① ボタン番号：01
自己保留
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

転送完了

- ① ボタン番号：01
転送完了
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

DISC

- ① ボタン番号：01
DISC
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

キャンセル

- ① ボタン番号：01
キャンセル
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

セーブダイヤル

- ① ボタン番号：01
セーブダイヤル
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

メッセージウェイト

- ① ボタン番号：01
メッセージウェイト
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。

他グループピックアップ

- ① グループ番号？
20■
- グループ番号を入力→
決定を押す。
(例) 20
- ② ボタン番号：01
他グループピックアップ
グループ番号：20
- 決定を押すとボタンが登録されて、P.68の操作②に戻ります。
- 入力し直すときは  を押す。

各種登録（つづき）

販売店の設定による登録機能ボタン一覧

販売店によって設定されている機能ボタンの内容は下記のように表示されます(これは一例です)。

ボタン番号：01 ストレートライン 収容位置：01200	ボタン番号：01 バーチャル発信	ボタン番号：01 バーチャル着信	ボタン番号：01 他テナントバーチャル テナント番号：12
ボタン番号：01 共 通保留 保留番号：10	ボタン番号：01 仮想局線 仮想番号：20000 サブ番号：1	ボタン番号：01 仮想内線 仮想番号：54321 サブ番号：1	ボタン番号：01 出退/用務 付加情報：1
ボタン番号：01 マイク	ボタン番号：01 ルート話中 ルート番号：2	ボタン番号：01 PB送出 123456789#	ボタン番号：01 出退表示 種別：1 内線/コード：2222
ボタン番号：01 社員BOX(暗証なし) BOX番号：2000	ボタン番号：01 社員BOX(暗証あり) BOX番号：2000	ボタン番号：01 着信拒否	ボタン番号：01 メッセージウェイトンク
ボタン番号：01 モード切替 テナント番号：1	ボタン番号：01 番号変換 グループ番号：0	ボタン番号：01 テナント統合 テナント番号：0	ボタン番号：01 VIP呼出
ボタン番号：01 オートリトライ	ボタン番号：01 モニタ割込	ボタン番号：01 モード切替 グループ番号：1	ボタン番号：01 受話器外し表示
ボタン番号：01 ハウラー送出	ボタン番号：01 ダイレクト グループ毎モード切替 モード：1 グループ番号：0	ボタン番号：01 呼出停止内線表示	ボタン番号：01 モーニングコール 呼出停止内線表示
ボタン番号：01 取消	ボタン番号：01 ポーズ	ボタン番号：01 プリセット	ボタン番号：01 録音
ボタン番号：01 コメント	ボタン番号：01 終了	ボタン番号：01 メッセージ転送	ボタン番号：01 出退表示登録 種別：1
ボタン番号：01 指令 グループ番号：1	ボタン番号：01 被指令者 内線番号：2000		

内線名称を登録する

- ①
- | |
|----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン |
| 3 内線名称 |
| 4 Myナンバー |
- 登録モード(P.62) から
「3 内線名称」を選択→
決定を押す。

- ②
- | |
|-------------|
| 内線名称
未登録 |
|-------------|
- 決定を押す。

・内線名称が登録されている場合は、その旨が表示されます。

- ③
- | |
|-----------|
| 1 登録 / 編集 |
| 2 消去 |
- 「1 登録/編集」を選択→
決定を押す。

- ④
- | |
|-------|
| 内線名称？ |
| 鈴木 ■ |
| 漢全 |
- 名称を入力→
決定を押す。

- ⑤
- | |
|------------|
| 内線名称
鈴木 |
|------------|

・内線名称が登録されます。

内容OKなら→ 決定を押す。 → 操作①に戻るのので→ 終了を押す。
待機画面に戻ります。

内容修正なら→ 戻るを押す。 → 戻るを押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

各種登録（つづき）

マイ My ナンバーを登録する

席移動の際、現在お使いの電話機と内線番号を移動先でそのまま使うことができます。さらに移動先で使用しているグループボタン配置、ボタン着信音、コールピックアップグループの機能を電話機にコピーすることができます。

My ナンバーの登録は、下記の1、2、3の順（移動前と移動後）に行います。

1 My ナンバーを登録する【移動前に登録します】

移動のために、自分の内線番号を登録します。

①

1 短縮ダイヤル

2 ボタン

3 内線名称

4 My ナンバー

登録モード (P.62) から
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。

②

1 My ナンバー登録

2 席移動開始

3 My ナンバー表示

4 グループデータコピー

「1 My ナンバー登録」を選択→
決定を押す。

③

My ナンバー登録中
お待ちください

↓

My ナンバー登録
しました

登録完了後→
決定を押す。

終了
• 画面は操作①に戻ります。◀を押すと待機画面になります。

2 席移動を開始する【1項の、「My ナンバーを登録する」操作をし、電話機を移動した後に行います】

移動先で、自分の内線番号を登録します。

①

1 短縮ダイヤル

2 ボタン

3 内線名称

4 My ナンバー

登録モード (P.62) から
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。

②

1 My ナンバー登録

2 席移動開始

3 My ナンバー表示

4 グループデータコピー

「2 席移動開始」を選択→
決定を押す。

③

My ナンバー取得中
お待ちください

↓

内線番号 3000

05月16日(月) 13:22

着信音量 ■■■□□□

登録が完了すると自分の
内線番号が表示されます。

3 グループデータをコピーする【2項の、「席移動を開始する」操作をした後に行います】

移動先グループで使用されている、電話機のグループボタン配置、ボタン着信音、コールピックアップグループが登録されます。

①

1 短縮ダイヤル

2 ボタン

3 内線名称

4 My ナンバー

登録モード (P.62) から
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。

②

1 My ナンバー登録

2 席移動開始

3 My ナンバー表示

4 グループデータコピー

「4 グループデータコピー」を選択→
決定を押す。

③

内線番号？
4110 ■

内線番号を入力→
決定を押す。

④

1 グループデータコピー

2 キャンセル

「1 グループデータコピー」を選択→
決定を押す。

↓

内線番号 3000

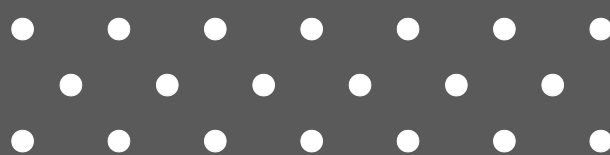
05月16日(月) 13:22

着信音量 ■■■□□□

登録後は、元のデータに戻せません。

72

第6章



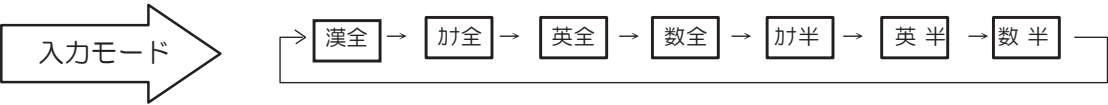
付 録

本章は、参照内容や電話機の仕様などについての説明です。

各ボタンの文字割り当て

入力文字は、各ボタンに割り付けられています。

文字
ダイアル を押すと次の順に入力モードが換わります。



始めに入力モードを選択して、次に下表にしたがって各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力してください。

文字種 ボタン	漢 全 (漢字全角)	加全(カ) (かな全角)	英 全 (英字全角)	数 全 (数字全角)	加半(カ) (かな半角)	英 半 (英字半角)	数 半 (数字半角)
	漢 あ	ア	A	1	アI	AB	12
1 あ	→あいうえお	→アイウエオ	——	1	→アイウエオ	——	1
2 か ABC	→かきくけこ	→カキクケコ	→ABC	2	→カキクケコ	→ABC	2
3 さ DEF	→さしすせそ	→サシスセソ	→DEF	3	→サシスセソ	→DEF	3
4 た GHI	→たちつてと	→タチツテト	→GHI	4	→タチツテト	→GHI	4
5 な JKL	→なにぬねの	→ナニヌネノ	→JKL	5	→ナニヌネノ	→JKL	5
6 は MNO	→はひふへほ	→ハヒフヘホ	→MNO	6	→ハヒフヘホ	→MNO	6
7 ま PQRS	→まみむめも	→マミムメモ	→PQRS	7	→マミムメモ	→PQRS	7
8 や TUV	→やゆよ	→ヤユヨ	→TUV	8	→ヤユヨ	→TUV	8
9 ら WXYZ	→らりるれろ	→ラリルレロ	→WXYZ	9	→ラリルレロ	→WXYZ	9
0 わ 記号	→わをんー、。・	→ワヲンー、。・	→.,-<>/	0	→ワヲンー、。・	→.,-◇/	0
* ・・	→* 。	→* 。	——	*	→* 。	——	*
#	——	——	——	#	——	——	#

小文字を表示させるには

全角で文字種を表示させて、小文字のある文字種(下記)になったときに

短縮

短縮 を押す。

【小文字の文字種】

あいうえお	つ	やゆよ	わ	abc	def	ghi	jkl	mno	pars	tuv	wxyz
アI	ツ	ヤヨ	アイウエオ	カケ	ツ	ヤユヨ	ワ				

文字入力

各ボタンの文字割り当て(P.74)をご覧ください。

漢字／ひらがな

入力モードを「漢全」にする。 **漢全**

① 名前？
■
漢全

入力モード

② ひ た ち
漢全

“読み”を入力する。
(例) ひたち

- 入力した読みを“ひらがな”で確定するときは **決定** を押す。
- 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。
- 入力した読みを漢字変換するときは **▲▼** で候補を表示させる。

③ ひたち
1 日立
2 常陸
3 ヒタチ
4 ひたち
候補を選択→
決定 を押す。
(例) 「1 日立」

④ 名前？
日立 ■
漢全

- 操作②③を繰り返して文字を入力する。

濁点、半濁点の入力

(例) が

- ① カーソルを合わせる。
- ② *** ..** を押して濁点、半濁点を付ける。
- ③ これで、「が」になりました。

- カタカナ半角の場合は濁点、半濁点も半角1文字が使われますので、通常通りの入力になります。

スペース入力

スペースは半角だけです。全角はありません。

か → ■ ① 「か」と入力して **決定** を押す。

か → □ → ■ ② カーソルを右に移す。

か □ ■ ③ これで、半角スペースができました。

↑ 半角スペース

直接入力文字

入力モードを「漢全」以外にする。

かな **英全** **数全** **かな** **英半** **数半**

① 名前？
■
かな 任意の文字を入力する。

② 名前？
ヒ タ チ A B C 1 2 3
数半

- 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。

文字削除

■ 1文字削除

① 名前？
日立太 郎 A B C 1 2 3
漢全

削除する文字にカーソルを合わせ→
クリア
不在 を押す。



名前？
日立 困 A B C 1 2 3
漢全

- 1文字削除されて文字間がつ詰まります。

■ 全削除

① 名前？
日立太 郎 A B C 1 2 3
漢全

クリア
不在 を
長押し(3秒以上)する。

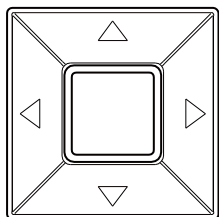


名前？
■
漢全

- 全文字削除されます。

十字／決定ボタンの機能

十字／決定ボタンの機能は、下記のとおりです。



電話機の状態	ボタン機能
待機状態と通話中	 電話帳検索  発信履歴
発信履歴／着信履歴を利用中	  発信履歴／着信履歴を切り替える
メニュー画面表示中	  メニュー選択  前頁表示  次頁表示
文字入力中	 カーソル左移動  カーソル右移動
漢字変換時	 末尾候補  先頭候補
待機状態／着信中	  着信音量 ( : 大きく /  : 小さく)
スピーカモニタ中	  スピーカ音量 ( : 大きく /  : 小さく)
相手と通話中	  受話音量 ( : 大きく /  : 小さく)

機能メニューの表示

機能メニュー一覧(P.78)の内容を画面に表示させる操作概要です。

第1項目(トップメニュー)から順にその下の階層の項目(第2→第3・・・)を選択します。選択していくにつれて階層が深くなっていきます。



●各画面では▲で上段、▼で下段の項目にカーソルが移動します。

【待機画面】

①

内線番号	100
04月27日(水)	15:00
着信音量	■■■■□□□

決定を押す。

②

パスワード?

電話機がロックされていると本画面になります。
(電話機ロックP.56)
パスワードを入力→
決定を押す。

第1項目 【トップメニュー画面】

③

1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

項目を選択→
決定を押す。
(例)「1 電話帳」

第2項目

④

1 検索
2 登録
3 グループ
4 電話帳読み込み
5 消去

項目を選択→
決定を押す。
(例)「1 検索」

第3項目

⑤

1 読み仮名検索
2 名前検索
3 グループ検索
4 電話番号検索
5 メモリ番号検索

項目を選択→
決定を押す。
(例)「2 名前検索」

第4項目

⑥

名前?
■
漢全

⑦

名前?
日立
漢全

名前を入力→
決定を押す。
文字入力(P.75)

第5項目

⑧

1 日立太郎
2 日立花子
3 日立次郎
← (1 / 1) →

項目を選択→
決定を押す。
(例)「1 日立太郎」

第6項目

⑨

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

決定を押す。

第7項目

⑩

1 発信番号選択
2 変更
3 消去

項目を選択→
決定を押す。
(例)「1 発信番号選択」

第8項目

⑪

1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

決定 または
オンフックを押す。

・ダイヤルが送出されます。

機能メニュー一覧

トップメニュー	ネクストメニュー			
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目
1 電話帳	1 検索 <P.39>	1 読み仮名検索	[読み仮名入力]	[電話帳選択]
		2 名前検索	[名前入力]	
		3 グループ検索	[グループ選択]	
		4 電話番号検索	[電話番号入力]	
		5 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]	
	2 登録 <P.37>	1 名前(必須)	[名前入力]	
		2 読み仮名	[読み仮名入力]	
		3 電話番号1の特番	[特番入力]	
		4 電話番号1(必須)	[電話番号入力]	
		5 確認/登録	[電話帳表示]	[登録選択]
		1 電話番号2/3へ	1 グループ登録へ	
			2 電話番号2の特番	[特番入力]
			3 電話番号2	[電話番号入力]
			4 電話番号3の特番	[特番入力]
			5 電話番号3	[電話番号入力]
			[グループ選択]	
		3 着信音色	[着信音選択]	
		4 着信ランプ色	[ランプ色選択]	
		5 確認/登録	[電話帳表示]	[登録選択]
	3 グループ <P.47>	[グループ選択]	1 名称変更	[名称入力]
			2 着信音色	[着信音選択]
			3 着信ランプ色	[着信ランプ色選択]
	4 電話帳読み込み	1 短縮ダイヤル <P.47>	[グループ選択]	[短縮ダイヤル入力]
	5 消去	1 グループ毎消去 <P.45>	[グループ選択]	[消去選択]
		2 全消去 <P.45>	[消去選択]	
		3 1件消去 <P.45>	1 読み仮名検索	[読み仮名入力]
			2 名前検索	[名前入力]
			3 グループ検索	[グループ選択]
			4 電話番号検索	[電話番号入力]
			5 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]
2 履歴	1 発信履歴 <P.42>	[発信履歴選択]	1 発信	
			2 電話帳登録	⇒登録へ
			3 1件消去	[消去選択]
			4 全消去	[消去選択]
	2 着信履歴 <P.42>	[着信履歴選択]	1 発信	
			2 電話帳登録	⇒登録へ
			3 1件消去	[消去選択]
			4 全消去	[消去選択]
	3 消去	[消去選択]		

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[電話詳細表示]	1 発信番号選択	1 (電話番号1)		●子機を上げるか、オンフック押下で発信 [電話帳選択]：カーソルの電話帳の電話番号1に発信。 [電話帳詳細表示]：電話番号1に発信。 ●通話の転送 [電話帳選択]／[電話帳詳細表示]／第8項目の電話番号の選択中に[転送]を押す。 ●電話帳検索の起動 待機状態／通話中に  で起動。
		2 (電話番号2)		
		3 (電話番号3)		
	2 変更	⇒登録へ		
	3 消去	[消去選択]		
				全角10文字、半角20文字まで入力可能。
				半角カナ／英数字で10文字まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。(必須入力)
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。
				着信音優先順位①
				推奨：全角9文字、半角18文字まで。(××：01～20)
			グループ××	着信音優先順位②
			指定なし	
			指定なし	
[詳細情報表示]	[登録選択]			
				検索結果から移動
				検索結果から移動
[電話帳選択]	[消去選択]			
				●子機を上げるか、オンフック押下で発信 [発信履歴選択]／[着信履歴選択]：表示中の電話番号に発信。 ●通話の転送 [発信履歴選択]／[着信履歴選択]で履歴表示中に[転送]を押す。 待機状態／通話中に  で発信履歴が起動。 ●着信履歴の起動 発信履歴表示中に  /  で着信履歴が起動。

機能メニュー 一覧 (つづき)

トップメニュー	ネクストメニュー			
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目
3 電話機設定1	1 サウンド設定	1 着信音設定 〈P.49~50〉	1 着信種別毎音色	1 一般着信
				2 ボタン着信
				3 保留警報
			2 ボタン着信毎音色	[フリーファンクションボタン押下]
			3 着信音鳴動条件設定	
		2 音量設定 〈P.52〉	1 着信音量初期値	[レベル選択]
			2 通話音量初期値	
			3 スピーカ音量初期値	[レベル選択]
			4 最小着信音	1 最小
				2 消音
		3 ボタンタッチ音 〈P.51〉	1 無効	
			2 有効	
		4 レベル設定		
	2 LCD設定	1 コントラスト 〈P.52〉	[レベル選択]	
		2 バックライト明度 〈P.53〉	1 標準	
			2 省電力	
		3 バックライト点灯時間 〈P.53〉	1 1 分	
			2 3 分	
			3 10分	
			4 消灯なし	
		4 バックライト着信時有無 〈P.53〉	1 点灯	
			2 消灯	
		5 バックライト操作時有無 〈P.53〉	1 点灯	
			2 消灯	
	3 履歴保存条件	1 発信履歴 〈P.43〉	1 外線発信履歴	[保存選択]
			2 専用線発信履歴	[保存選択]
			3 内線発信履歴	[保存選択]
		2 着信履歴 〈P.43〉	1 着信通話履歴	[保存選択]
			2 不在着信履歴	[保存選択]
	4 拡張機能	1 ヘッドセット付加		
		2 省電力設定 〈P.53〉	1 省電力モード設定	1 無効
				2 有効
			2 省電力移行時間	1 1 分
				2 3分
				3 10分
				4 30分
		3 子機呼び 〈P.55〉	[呼出選択]	
	5 保守	1 バージョン情報	[バージョン表示]	
		2 パスワード登録 〈P.56〉	[現パスワード入力]	[新パスワード入力]
		3 初期化 〈P.55〉	[初期化選択]	

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[着信種別選択]	[着信音選択]	[登録内容表示]	本体制御	着信音優先順位③
[設定着信音選択]				着信音優先順位⑤
1 保留警報				
[着信音選択]	[登録内容表示]		本体制御	着信音優先順位④
				この機能は本電話機では使用できません。
			3段目(6段階)	停電等の給電停止状態からの復帰時の音量を設定します。
				この機能は本電話機では使用できません。
			3段目(6段階)	
			1 最小	着信音を消すことができますようにします。
			2 有効	ボタン操作時の音の有無を切り替えます。
				この機能は本電話機では使用できません。
			10段目(20段階)	20段階。ディスプレイのコントラストを調節できます。
			2 省電力	バックライト点灯時の明度を切り替えます。
			1 1分	電話機を操作しないで、設定時間が経過するとバックライトを消灯させることができます。(この設定の有無によらず、電話機を操作しないで約10秒経過するとバックライトが暗くなります)
			1 点灯	着信時にディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。
			1 点灯	電話機のボタンを操作しているときに、ディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。
			1 保存する	発信履歴に外線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			1 保存する	発信履歴に専用線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			1 保存する	発信履歴に内線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			1 保存する	着信履歴に着信後に通話した相手を保存するかどうかを切り替えます。
			1 保存する	着信履歴に着信に 응답できなかった相手を保存するかどうかを切り替えます。
				この機能は本電話機では使用できません。
			1 無効	電話機を操作しないで設定時間が経過するとバックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
			4 30分	
			-	
[新パスワード入力]			0000	4～8桁。
				電話機の設定が初期化されます。

機能メニュー一覧（つづき）

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目
4 電話機設定2	1 短縮ダイヤル 〈P.63～67〉	1 短縮ボタン発信 2 特番発信	[短縮ダイヤル入力] [特番+短縮番号入力]	[登録内容表示]	1 登録
					2 編集
					3 消去
	2 ボタン 〈P.68～70〉	[フリーファンクションボタン押下]	登録内容表示	1 登録／編集	1 オートダイヤル
					2 外線ワンタッチ
					3 内線ワンタッチ
					4 自己保留
				2 消去	1 転送完了
					2 DISC
					3 キャンセル
					4 セーブダイヤル
	3 内線名称 〈P.71〉	登録内容表示	1 登録／編集 2 消去	[名前入力] 1 キャンセル 2 消去	1 メッセージウェイト
					2 他グループピックアップ
					1 キャンセル
					2 消去
	4 Myナンバー 〈P.72〉	1 Myナンバー登録			登録内容表示
		2 席移動開始			
		3 Myナンバー表示			
		4 グループデータコピー	[内線番号入力]	1 グループデータコピー 2 キャンセル	
5 ロック 〈P.56〉	1 解除する				
	2 メニューロックする				
	3 発信ロックする				
6 アラーム 〈P.57〉	[アラーム選択]	1 時刻指定	1 日時指定	[アラーム時間入力]	
			2 曜日指定	[アラーム時間入力]	
		2 警報メッセージ	[メッセージ入力]		
		3 警報色	[警報色選択]		
		4 解除			
		5 登録			

			第10項目	第11項目	初期値	備 考
第7項目	第8項目	第9項目				
1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出用	[相手番号入力]	[名称入力]	[読み仮名入力]	登録内容表示		名称、読み仮名はシステム短縮ダイヤルのみ
1 発信種別	1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出用					
2 相手番号	[相手番号入力]	登録内容表示				
3 名称	[名称入力]					システム短縮ダイヤルのみ
4 読み仮名	[読み仮名入力]					システム短縮ダイヤルのみ
1 キャンセル 2 消去						
[相手番号入力]	登録内容表示					
[短縮番号入力]	登録内容表示					
[外線番号入力]	登録内容表示					
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
[グループ番号入力]	登録内容表示					
						オプション機能が必要です。
					解除する	

こんなメッセージが出たら

第5章の内容を操作しているときに、操作内容に間違いがあると表示器に下記のようなメッセージが表示されます。その意味は次のとおりです。

メッセージ	意味
短縮番号が違います	短縮番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、短縮番号を修正してください。
特番＋短縮番号が違います	特番または短縮番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、特番または短縮番号を修正してください。
この電話機からは登録消去はできません	お使いの電話機からは、登録内容表示はできますが、登録（変更）消去はできません。
相手番号が違います	相手番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、相手番号を修正してください。
内線番号が違います	内線番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、内線番号を修正してください。
グループ番号が違います	グループ番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、グループ番号を修正してください。
既に他のボタンに設定されています	登録しようとした機能が他のボタンに設定されているか、登録（変更）できない機能ボタンに変更されています。
オプション機能が登録されていません	オプション機能が登録されていません。Myナンバーメニューには席替えソフトオプションが必要です。
席移動中です。Myナンバー登録できません	席移動中の回線では、Myナンバー登録はできません。
Myナンバー登録に失敗しました	多機能電話機へのMyナンバー登録（書込み）に失敗しました。始めからもう一度、操作してください。
Myナンバーが登録されていません	多機能電話機にMyナンバーが登録されていません。元の自席に電話機を持って行ってMyナンバー登録後、始めからもう一度、操作してください。
Myナンバー取得に失敗しました	多機能電話機からのMyナンバー取得に失敗しました。始めからもう一度、操作してください。
年月日曜が違います	年月日曜が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、年月日曜を修正してください。
時分が違います	時分が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、時分を修正してください。
暗証番号が違います	暗証番号が間違っています。〔代理応答〕ボタンで戻り、暗証番号を修正してください。
読み仮名を入力した場合は、名称入力が必要です	短縮ダイヤルの名称が設定されていません。名称を設定してください。
選択された機能は、この盤面に登録できません	選択された機能ボタンはDSSには登録できません。
他の端末より、席入替中の為、暫くお待ちの上、再度席入替操作を、行ってください	他の端末で席入替中です。しばらく待って、初めからもう一度操作してください。

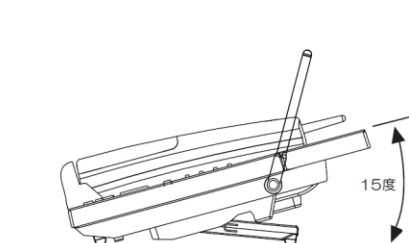
故障かな？と思ったら

故障かな？、と思ったら、まず下記の内容を確認してください。それでも直らない場合は販売店にお問い合わせください。また、子機の設定や使用環境にも影響されますので、「詳細取扱説明書 子機編」もあわせてご覧になり、ご確認ください。

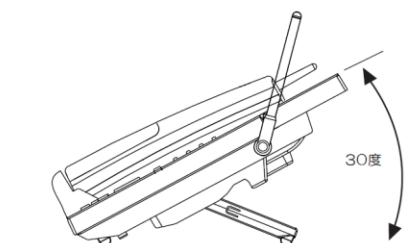
現 象	原 因	対 処
電話機が起動しない。	電話機または交換機にケーブルが接続されていない。または接続先が違う。	正しくケーブルを接続してください。 交換機側に関しては販売店にご依頼ください。
	交換機にデータが登録されていない。	販売店にご依頼ください。
トーンが聴こえない。	子機が使用できない。	子機の充電状態を確認してください。
通話が無音。	IP回線を利用している。	ネットワークの状況により、通話開始までに時間がかかることがあります。トラフィック量などの回線状況を確認してください。
	通話相手が送話をミュートしている。	相手方にミュートを解除してもらってください。
通話が途切れる。	子機が電波を受信できない。	親機の近くに移動してください。
	IP回線を利用している。	ネットワークの状況により、通話の途切れ、エコーが発生する場合があります。トラフィック量などの回線状況を確認してください。
	通話相手が無線端末を利用している。	通話相手の電波状況により、通話の途切れ、エコーが発生する場合があります。
フリーファンクションボタンのランプが点灯・点滅しない。	省電力モードを「有効」に設定している。	省電力設定を「無効」に設定してください。 (P.53)
着信音が鳴らない。	最小着信音を「消音」に設定している。	最小着信音を「最小」に設定してください。 (P.49)
	着信音を「消音」に設定している。 (交換機の設定)	販売店に設定変更をご依頼ください。
ボタン操作音が鳴らない。	ボタンタッチ音を「無効」に設定している。	ボタンタッチ音を「有効」に設定してください。 (P.49)
子機が使用できない。	子機と親機の同期がとれていない。	回線コードを抜き差ししてください。
通話相手に自分の声が届かない。	ループバック機能（保守用）を「有効」に設定している。	待機画面で画面右下に” L ” が表示されている場合は、保守用のループバック機能が「有効」に設定されており、自分の声が相手に届きません。販売店に設定変更をご依頼ください。 【 待機画面 】 内線番号3000 05 月 16 日 (月)13:22 着 信 音 量 ■□□□□ L
回線コードを挿入したらフリーファンクションボタンの7番が点灯した。	ダイヤルボタンの”#”を押しながら回線コードを挿入した。	回線コードを再度抜き差ししてください。

電話機の角度を変える

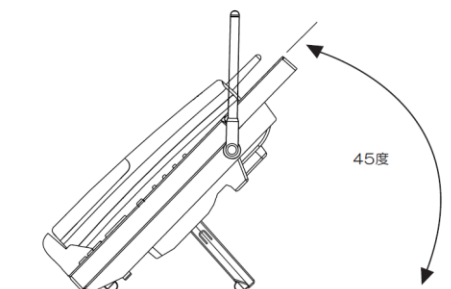
電話機裏面の角度アダプタの位置を変えることで、電話機の高さは下図のようになります。



低

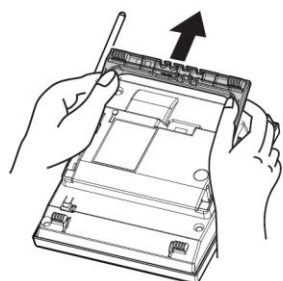


中

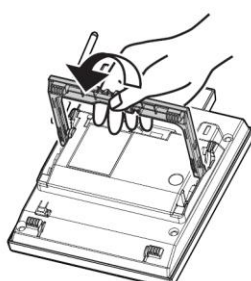


高

低 → 中 または 高 にする



① 角度アダプタを押し出す。

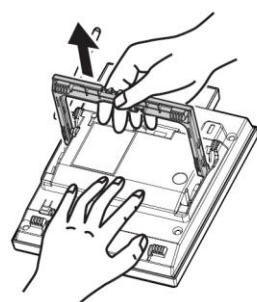


② 1 段目 (中)、または 2 段目 (高) のストッパーまで起こす。

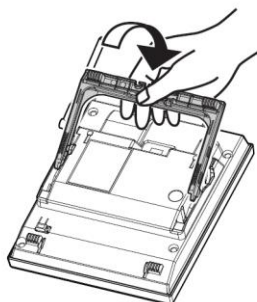


③ 設定する角度で押し込む。

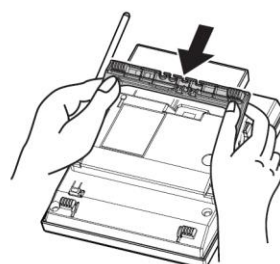
中 または 高 → 低 にする



① 角度アダプタを引き出す。



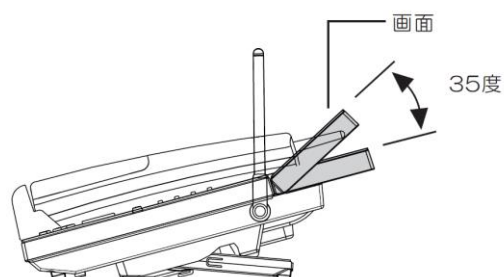
② 角度アダプタを奥に倒す。



③ 角度アダプタを最後まで押し込む。

画面の角度を変える

画面は図の角度内で、任意の角度に調節して使用できます。



タイムメッセージ

交換機に搭載されているバッテリーや、交換機の耐用年数がせまっていることが電話機に表示されます。タイムメッセージが表示される電話機は、あらかじめ登録されています。

表 示	意 味
バッテリーの交換時期になりました。	交換機に搭載されているバッテリーの交換時期です。
電話設備の交換時期が近づいて来ました。	交換機の点検時期です。

【表示の解除】

表示期間を越えた場合	電話機のボタン操作、または子機を上げる。
------------	----------------------

※ タイムメッセージを表示する電話機が複数台ある場合は、ある1台が表示解除すると、他の電話機の表示も解除されます。

主な仕様

環 境 条 件	温度：0℃～40℃ 湿度 20%～85%(結露なきこと)
表 示 器	文字列：6行 1行当たりの文字数：半角で20 / 全角で10
	文字フォント：JIS第1水準、第2水準、JIS非漢字 6888字
外 形 寸 法	約180(幅)mm×245(奥行)mm×109(高さ)mm (アンテナと突起部は含みません)
質 量	約1.0kg (親機と子機の合計です)

